

改正

昭和47年4月1日  
昭和48年4月1日  
昭和50年4月1日  
昭和51年4月1日  
昭和52年4月1日  
昭和53年4月1日  
昭和54年4月1日  
昭和55年4月1日  
昭和56年4月1日  
昭和57年4月1日  
昭和58年4月1日  
昭和59年4月1日  
昭和60年4月1日  
昭和61年4月1日  
昭和62年4月1日  
昭和63年4月1日  
平成元年4月1日  
平成2年4月1日  
平成3年4月1日  
平成4年4月1日  
平成5年4月1日  
平成6年4月1日  
平成7年4月1日  
平成8年4月1日  
平成9年4月1日  
平成10年4月1日  
平成11年4月1日  
平成12年4月1日  
平成13年4月1日  
平成14年4月1日  
平成15年4月1日  
平成16年4月1日  
平成17年4月1日  
平成18年4月1日  
平成19年4月1日  
平成20年4月1日  
平成21年3月28日  
平成22年3月27日学則第4号  
平成22年4月1日学則第1号  
平成22年5月25日学則第2号  
平成22年10月2日学則第4号  
平成23年3月24日学則第6号  
平成24年3月29日学則第3号  
平成24年4月27日学則第1号  
平成24年8月24日学則第2号  
平成25年3月29日学則第6号

平成25年3月29日学則第7号  
平成25年5月21日学則第1号  
平成25年9月4日学則第3号  
平成26年1月25日学則第4号  
平成26年3月22日学則第7号  
平成26年5月24日学則第1号  
平成26年5月24日学則第2号  
平成26年12月20日学則第4号  
平成27年1月31日学則第8号  
平成27年3月20日学則第11号  
平成28年1月23日学則第7号  
平成28年3月25日学則第8号  
平成28年8月13日学則第1号  
平成29年1月28日学則第4号  
平成29年1月28日学則第5号  
平成29年3月27日学則第11号  
平成30年2月17日学則第1号  
平成30年3月20日学則第5号  
平成31年1月26日学則第4号  
平成31年3月22日学則第13号  
令和2年3月26日学則第1号  
令和2年5月25日学則第1号  
令和3年1月23日学則第6号  
令和3年3月26日学則第7号  
令和3年3月26日学則第13号  
令和3年3月26日学則第15号  
令和4年1月22日学則第1号  
令和4年3月25日学則第3号  
令和5年3月24日学則第7号  
令和6年3月28日学則第12号  
令和7年1月23日学則第3号  
令和7年3月27日学則第6号  
令和8年3月26日学則第5号

## 創価大学学則

### 第1章 総則

#### (目的)

第1条 本学は、創立者池田大作先生の建学の精神に基づき、学校教育法により、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、全人的な人間形成をはかるとともに、文化の発展と人類の福祉に貢献することを目的とする。

#### (自己点検・評価)

第1条の2 本学は、前条の目的を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の自己点検及び評価の項目、実施体制等については別に定める。

3 本学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価を受けるものとする。

#### (情報の積極的な提供)

第1条の3 本学は、本学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

#### (名称)

第2条 本学は、創価大学と称する。

(所在地)

第3条 本学は、東京都八王子市丹木町1丁目236番地にこれを置く。

第2章 学部等の組織、収容定員、修業年限及び学部の目的

(学部・学科、収容定員及び学部の目的)

第4条 本学の学部・学科及び収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年時編入学定員	収容定員
(1) 経済経営学部	ビジネス学科	280名	20名	1,160名
(2) 法学部	法律政治学科	140名	—	560名
(3) 文学部	人間学科	250名	15名	1,030名
(4) 教育学部	心理・教育学科	85名	—	340名
	児童教育学科	85名	—	340名
(5) 理工学部	情報システム工学科	90名	—	360名
	生命理工学科	55名	—	220名
	グリーンテクノロジー学科	60名	—	240名
(6) 看護学部	看護学科	80名	—	320名
(7) 国際教養学部	国際教養学科	90名	—	360名

2 各学部の人材養成の目的は、別表第1の定めるとおりである。

(通信教育部)

第4条の2 本学に通信教育部を置く。

2 通信教育部の学則は、別に定める。

(大学院及び専門職大学院)

第4条の3 本学に大学院及び専門職大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

(別科)

第4条の4 本学に別科を置く。

2 別科に関する規程は、別に定める。

(修業年限)

第5条 本学の標準修業年限は、4年(通算8学期)とする。ただし、休学期間はこれに算入しない。

2 学生が本学に入学する前に、本学の科目等履修生として一定の単位を修得している場合は、修得した科目及び単位数並びにその修得に要した期間を勘案して、前項の修業年限に含めることがある。

3 学生は、8年(通算16学期)を超えて在学することができない。

第3章 学年・学期、授業期間及び休業日

(学年及び学期)

第6条 本学の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。但し、秋学期に入学した場合の学年は、毎年9月16日に始まり翌年9月15日に終わる。

2 学年を次の2学期に分ける。但し、教育上必要な場合、春学期及び秋学期の開始日及び終了日を変更することができる。

(1) 春学期 4月1日から9月15日まで

(2) 秋学期 9月16日から翌年3月31日まで

3 前項に定める各学期は、セメスターとし前半及び後半に分けることができる。2つに分けた各期間をタームとする。

4 教育上必要があるときは、夏季休業及び春季休業の期間に特別学期を設けることができる。その各期間をショートタームとする。

(授業期間)

第7条 1年間の授業を行う期間は、35週の期間にわたることを原則とする。

2 各授業科目の授業は、十分に教育効果を上げることができるよう、8週又は15週にわたる期間を単位として行うことを原則とする。

(休業日)

第8条 定期休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 本学創立記念日 4月2日
- (4) 夏季休業 8月1日から9月10日まで
- (5) 冬季休業 12月25日から翌年1月5日まで
- (6) 春季休業 翌年2月10日から3月31日まで

2 前項各号の休業日を変更し、又は休業日に授業を行い、若しくは臨時に休業日を設けることがある。

#### 第4章 教育課程

(教育課程の編成)

第9条 本学は、教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。

- 2 授業科目を、共通科目及び専門科目に分ける。
- 3 本学において授業する科目及び単位数は、別表第2から別表第12のとおりである。
- 4 前項に定めるもののほか、必要に応じて特定の科目を授業することがある。

(学士課程教育機構)

第9条の2 本学に、共通科目の運営を担い、学士課程教育の質向上を図るための組織として、創価大学学士課程教育機構（以下、「教育機構」という）を置く。

- 2 教育機構に運営委員会を置く。
- 3 教育機構の組織及び運営に関する規程は別に定める。

(連携開設科目)

第9条の3 大学設置基準第19条の2に規定する連携開設科目において修得した単位は、30単位を超えない範囲で本学の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 連携開設科目表及び他大学での連携開設科目の履修方法等必要な事項は別に定める。
- (教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第9条の4 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。

(授業計画の明示及び履修登録)

第10条 本学は、学生に対し、毎年春学期の授業開始前に、春学期及び秋学期に開講する各科目の担当者、授業の方法や内容、年間の授業計画及びその他の必要な事項を明示する。

- 2 学生は毎学期の初めに、所定の期日までに履修しようとする科目を届け出なければならない。なお、期日を過ぎて届け出ない場合は退学を命ずることがある。

(卒業に必要な単位数)

第11条 卒業に必要な単位数は、次のとおりとする。

学部	学科	専門科目			共通科目			自由選択	総計	
		必修	選択必修	選択	外国語	必修	選択必修			選択
経済経営	ビジネス	18	6	46	10	4	14	—	26	124
法	法律政治	2	16	50	10	4	12	—	30	124
文	人間	14	1	46	10	4	12	—	37	124
教育	心理・教育	14	18	46	10	4	14	—	18	124
	児童教育	14	14	50	10	4	14	—	18	124
理工	情報システム工	14	8	48	10	4	14	—	26	124
	生命理工	36	24	20	6	3	15	—	20	124
	グリーンテクノロジー	19	—	60	6	4	11	—	24	124
看護	看護	103	—	—	6	4	6	—	6	125
国際教養	国際教養	33	52	—	25	4	6	—	4	124

- 2 学生は、他の学部・学科に属する科目を履修することができる（特定の科目を除く）。履修して修得した単位は、自由選択の一部又は全部として算入される。なお、自由選択には、教職に関する専門科目の修得単位並びに卒業に必要な単位数を超えて修得した専門科目と共通科目の単位数が算入される。
- 3 学生が、本学への入学前又は入学後に、次の各号により修得した単位等を、教育上有益と認めるときは、本学において修得したものとみなし、単位を認定することがある。
  - (1) 大学又は短期大学で履修した授業科目について修得した単位
  - (2) 外国の大学又はこれに相当する高等教育機関に留学し、そこで履修した授業科目について修得した単位又は成果
  - (3) 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修
  - (4) その他文部科学大臣が別に定める学修
- 4 前項により認定する単位数は、編入学・転入学等の場合を除き、合わせて60単位を超えないものとする。
- 5 第3項に定める単位認定の手続き等の詳細は別に定める。

(履修の要件・方法)

第11条の2 前条に係る履修方法の詳細は、別に定める。

- 2 入学後4年間（通算8学期）を経過して（休学期間を除く）、合計40単位を修得していない場合は退学を命ずることがある。
- 3 学生が各学期にわたって適切に授業科目を履修するため、教職に関する専門科目をはじめ特設課程に設置する科目等を除き、学生が1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は別に定める。
- 4 直前の学期に、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生の履修制限の緩和については、別に定める。

(教職関係科目)

第11条の3 教員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

- 2 教職に関する専門科目及び単位数は、別表第13(1)及び別表第13(2)のとおりである。
- 3 本学で取得できる教員免許状の種類及び教科は、次のとおりである。

文学部	人間学科	
	高等学校教諭1種免許状	「英語」
	中学校教諭1種免許状	「英語」
	高等学校教諭1種免許状	「地理歴史」、「公民」
	中学校教諭1種免許状	「社会」
	高等学校教諭1種免許状	「国語」
	中学校教諭1種免許状	「国語」
教育学部	心理・教育学科	
	高等学校教諭1種免許状	「公民」
	中学校教諭1種免許状	「社会」
教育学部	児童教育学科	
	小学校教諭1種免許状	
	幼稚園教諭1種免許状	
	特別支援学校教諭1種免許状	「知的障害者・肢体不自由者・病弱者」
理工学部	情報システム工学科	
	高等学校教諭1種免許状	「数学」
	中学校教諭1種免許状	「数学」
	高等学校教諭1種免許状	「情報」
理工学部	生命理工学科	
	高等学校教諭1種免許状	「理科」
	中学校教諭1種免許状	「理科」

- 4 教職関係科目の履修に必要な事項は、別に定める。

(社会教育主事及び社会教育士関係科目)

第11条の4 社会教育主事の資格及び社会教育士の称号を取得しようとする者は、社会教育法及び社会教育主事講習等規程に定める科目の単位を修得しなければならない。

2 社会教育に関する科目及び単位数は、別表第14のとおりである。

3 社会教育に関する科目の履修に必要な事項は、別に定める。

(社会福祉士関係科目)

第11条の5 社会福祉士の国家試験受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法に基づき、文部科学省令・厚生労働省令で定める社会福祉に関する科目の単位を修得しなければならない。

2 社会福祉に関する科目及び単位数は、別表第15のとおりである。

(公認心理師養成課程科目)

第11条の6 公認心理師の国家試験受験資格を取得しようとする者は、公認心理師となるために必要な科目として公認心理師法施行規則で定める科目を修めて卒業し、かつ、大学院において必要な科目を修めてその課程を修了しなければならない。

2 公認心理師養成課程に関する科目及び単位数は、別表第16のとおりである。

(日本語教員養成課程科目)

第11条の7 登録日本語教員の資格取得のため「日本語教員試験・基礎試験」の免除を受けようとする者は、「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」で定める科目の単位を修得しなければならない。

2 日本語教員養成課程に関する科目及び単位数は、別表第17のとおりである。

(単位)

第12条 1 単位の授業科目は、授業及び授業時間外の学修を合せて45時間を必要とする内容をもって構成することを標準とし、各授業科目の単位数は、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、15時間から45時間の授業をもって1単位とする。但し、看護学部看護学科専門科目の実験、実習及び実技科目については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

2 学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めるものとする。

(授業の方法)

第12条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

(メディアを利用して行う授業)

第12条の3 前条第2項に定める多様なメディアを高度に利用して行う授業は、パーソナル・コンピュータその他双方向の通信手段によって行う。

2 前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

## 第5章 試験、卒業及び学位

(単位の認定)

第13条 履修した科目の単位認定は、原則として、試験その他適切な方法により、学修の成果を評価して行う。

(試験の方法)

第14条 試験の方法は、筆記試験、口述試験、論文試験、実技試験又は実習試験の5種とする。

2 定期試験(中間試験、学期末試験、ターム末試験)は、タームの終了時又は学期末に行う。また、定期試験以外に臨時の試験を行うことができる。

3 やむをえない事由のため、定期の試験を受けることができなかつた者については、追試験を行うことがある。

(受験科目の届出)

第15条 学生は、履修登録した科目について、試験を受けることができる。

(成績評価)

第16条 成績評価は、A＋、A、A－、B＋、B、B－、C＋、C、D＋、D、E＋及びEの12級に分ち、A＋、A、A－、B＋、B、B－、C＋、C、D＋、及びDを合格とし、E＋及びEを不合格とする。ただし、教授会が認めた特定の科目については、PとFの2級に分ち、Pを合格とし、Fを不合格とする。

2 試験に合格した者には、所定の単位を認定する。ただし、学費未納の者には単位を認定しないことがある。

3 第11条第3項により単位を認定する科目の成績評価は、Rとする。

4 成績評価を保留する場合は、I評価とする。これについては別に定める。

(卒業)

第17条 本学に8セメスター以上在学して、第11条に規定する単位を修得し、かつ創価大学履修規程に定める基準を満たした者には、卒業を認める。

2 前項にかかわらず、本学に6セメスター以上在学した者で、第11条に規定する単位を優秀な成績で修得し、かつ創価大学履修規程に定める基準を満たした者には、卒業を認めることがある。

3 前2項の規定により、卒業の要件として修得すべき所定の単位数のうち、第12条の2第2項に規定する授業の方法で履修し修得した単位は、60単位を超えない範囲で認定する。

(学位の授与)

第18条 前条により卒業した者には、学士の学位を授与する。

第6章 入学、休学、退学、転入学、編入学、転学部・転学料、転籍、転学及び留学

(入学の時期)

第19条 入学の時期は、学期の始めとする。

(入学資格)

第20条 本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外により、これに相当する学校教育を修了した者も含む。)

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を修了した者

(5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) その他本学において高等学校を卒業した者と同等又はそれ以上の学力及びその年齢に達していると認められた者

(入学試験)

第21条 入学を志願する者は、所定の手続によって、願い出るものとする。

2 入学者の選考は、試験その他の方法による。

3 前項の選考を経て、所定の入学手続を終了した者に、入学を許可する。

(保証人)

第22条 入学を許可された者が提出する在学保証書の保証人は1名とし、親権者若しくはそれに準ずる者とする。

2 保証人が姓名を変え、又は転居したときは、速やかにその旨を届け出なければならない。

3 死亡、転居その他の事由により保証人がその資格を失ったときは、直ちに保証人を別に定め、改めて在学保証書を提出しなければならない。

(休学)

第23条 休学希望する者は、所定の手続を経て、許可を受けなければならない。

2 休学の期間満了による復学その他休学に関する事項は、別に定める。

(休学の期間)

第24条 休学の期間に関する事項は、別に定める。

(退学)

第25条 退学しようとする者は、所定の手続を経て、許可を受けなければならない。

- 2 退学しようとする学期の学費が未納の場合は、第42条第2項を準用する。
- 3 再入学は、学期の始めに限り、願い出により、選考のうえ許可することがある。

(転入学・編入学)

第26条 本学に転入学又は編入学を願い出た者については、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。

- 2 本学に転入学できる者は、大学（外国の大学又はこれに相当する高等教育機関を含む）を卒業した者、退学した者又は一定期間在学した者とする。
- 3 本学に編入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。
  - (1) 短期大学（外国の短期大学及び、我が国における、外国の短期大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を含む。）、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
  - (2) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
  - (3) 高等学校等の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる者
  - (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

(転学部・転学科)

第27条 転学部・転学科は、春学期の始めに限り、願い出により、選考のうえ許可することがある。転学部・転学科については別に定める。

(転籍)

第27条の2 通信課程から通学課程への転籍は、春学期の始めに限り、願い出により、選考のうえ許可することがある。通信課程から通学課程への転籍については別に定める。

(転学)

第28条 他の大学に転学を志望する者は、所定の手続を経て、その許可を願い出なければならない。

(留学)

第28条の2 外国の大学又はこれに相当する高等教育機関において修学することを志望する者は、許可を得て留学することができる。

- 2 前項の留学の期間は、第17条に定める在学年数に含めることができる。
- 3 留学に関する学内手続その他については、別に定める。

## 第7章 職員組織

(教員組織)

第29条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教及び助手を置く。

- 2 前項に定める教員について、任期の定めのある教員を置くことができる。
- 3 本学に、副学長を置くことができる。
- 4 前3項の教員は、次の職務に従事する。
  - (1) 学長は、大学全般の校務をつかさどり、所属職員を統督する。
  - (2) 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
  - (3) 教授、准教授及び助教は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
  - (4) 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
  - (5) 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な職務に従事する。
- 5 本学に、名誉教授、客員教授、顧問及び参与を置くことができる。
- 6 本学の教員は、本学が定める役割を分担し、かつ連携して組織的な教育を行うことに努めるものとする。

(学部長・副学部長)

第30条 各学部に学部長及び副学部長を置く。

- 2 学部長は、学長を補佐し、当該学部に関する校務をつかさどり、所属職員を統督する。
- 3 副学部長は、学部長を補佐する。

(各種委員会)

第31条 本学に、学長の諮問機関として学長室会議及び各種委員会を置く。

2 委員会に関する細則は、別に定める。

(事務局)

第32条 本学に、事務職員を置き、事務局を設ける。

2 事務局に関する規程は、別に定める。

#### 第8章 大学教育研究評議会及び教授会

(大学教育研究評議会)

第33条 本学に大学全般にわたる教育及び研究に関する審議機関として大学教育研究評議会(以下「大学評議会」という。)を置く。

2 大学評議会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 教育課程の編成に関する事項

(4) 教員の人事に関する事項

3 大学評議会は、前項に規定するもののほか、次に掲げる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

(1) 教務に関する事項

(2) 学生の厚生補導に関する事項

(3) 学則、規則等の制定、改廃に関する事項

(4) 各種委員会の設置並びに廃止に関する事項

(5) 学長の諮問事項

(6) その他全学的な研究及び教育に関する事項

4 大学評議会については、この学則に定めるもののほか、別に定める。

(学部教授会)

第34条 各学部に学部教授会を置く。

2 学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業

(2) 学位の授与

(3) 教育課程の編成

(4) 教員の教育研究業績の審査

3 学部教授会については、この学則に定めるもののほか、別に定める。

(構成)

第35条 大学評議会は、次の各号の者をもって構成する。

(1) 学長

(2) 副学長

(3) 学部長

(4) 学士課程教育機構長

(5) 学部選出に基づく専任教員各学部1名

(6) 教務部長

(7) 学生部長

(8) アドミッションズセンター長

(9) 国際部長

(10) 研究推進センター長

(11) 大学事務局長

2 学部教授会は、当該学部専任の教授、准教授及び講師をもって構成する。ただし学部長が必要と認めたときは、専任の助教を出席させることができる。

3 前項にかかわらず、看護学部の教授会は、専任の教授、准教授、講師及び助教をもって構成する。

4 外国出張中の者、休職中の者及び病気その他の事由により、引続き3か月以上欠勤中の者は、前2項の構成員に算入しない。

(招集)

第36条 大学評議会は、原則として毎月学長が招集する。

2 前項のほか、次の各号の一に該当するときは学長が招集する。

(1) 学長が必要と認めたとき。

(2) 大学評議会の構成員の3分の1以上の要請があったとき。

3 学部教授会は、次の各号の一に該当するときは、学部長が招集する。

(1) 学長又は学部長が必要と認めたとき。

(2) 学部教授会の構成員の3分の1以上の要請があったとき。

(議長)

第37条 大学評議会は、学長が議長となる。ただし、学長にさしつかえのあるときは、学長があらかじめ指名する副学長が議長となる。

2 学部教授会は、学部長が議長となる。ただし、学部長にさしつかえのあるときは、学部長があらかじめ指名する教授が議長となる。

(成立)

第38条 大学評議会は、構成員の半数以上の出席をもって成立する。ただし、大学運営並びに教員人事に関する重要事項については、3分の2以上の出席をもって成立するものとする。

2 学部教授会は、構成員の半数以上の出席をもって成立する。ただし、学部運営並びに教員の教育研究業績の審査に関する重要事項については、3分の2以上の出席をもって成立するものとする。

(議決)

第39条 大学評議会の議決は、出席構成員の過半数によるものとし、可否同数のときは議長がこれを決する。

2 学部教授会の議決は、出席構成員の過半数によるものとし、可否同数のときは議長がこれを決する。

## 第9章 検定料、学費

(学費)

第40条 学費とは、入学金、授業料、実習費、在籍料をいう。

2 本学の検定料及び学費は、別表第18のとおりとする。

3 在学中学費について変更のあった場合には、改定された金額を納付しなければならない。

4 学費は、学期の始めに納めなければならない。ただし、学費の延納を願い出た者については、許可することがある。

5 休学中の学費は、別表第18に定める金額とする。

(給付又は免除)

第41条 学業優秀な者に対しては、奨学金等を給付又は学費の全額若しくは一部を免除することがある。詳細は別に定める。

2 経済的事由その他やむをえない事情があると認められた者に対しては、奨学金等を給付又は学費の全額若しくは一部を免除若しくはその徴収を猶予することがある。詳細は別に定める。

(学費未納退学)

第42条 当該学期の学費を納付しない者は、退学を命じる。

2 前項により退学を命じられた者については、当該学期の単位認定は行なわない。また当該学期は在学期間に算入しない。

(退学等の学費)

第43条 学期の中途において退学した者又は停学若しくは退学を命ぜられた者は、別に定める場合を除き、その学期の学費を納めなければならない。

(返還)

第44条 いったん納めた学費は、いかなる事由があっても返還しない。

## 第10章 賞罰

(授賞)

第45条 人物、学業ともに優秀な者には、所定の手続を経て、表彰することができる。

(懲戒)

第46条 本学の諸規則に違背し、若しくは秩序を乱し、又は学生の本分に反する行為があったときは、

所定の手続を経て懲戒する。

- 2 懲戒は、その情状によって戒告、停学及び退学の3種とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生につきこれを行うことができる。
  - (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
  - (2) 学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
  - (3) 正当な理由なくして、出席常でない者

第11章 科目等履修生、研究生、特別履修生及び外国人学生

(科目等履修生)

第47条 科目等履修生として、1科目又は数科目の履修を志願する者は、学生の履修に妨げのない限り、選考のうえ許可することができる。

- 2 科目等履修生の諸納付金は、別表第19のとおりとする。
- 3 科目等履修生については、第4条、第5条、第11条、第17条、第18条、第40条及び別に定めるところを除き、本学則を準用する。

(研究生)

第47条の2 研究生として特定の事項について研究を希望する者は、支障のない場合に限り、選考のうえ許可することができる。

- 2 研究生の諸納付金は、別表第19のとおりとする。
- 3 研究生については、第4条、第5条、第11条、第17条、第18条、第40条及び別に定めるところを除き、本学則を準用する。

(特別履修生)

第47条の3 次の各号の一に該当する者で、本学則に定める授業科目の履修を希望する者があるときは、教育上に支障のない限り、特別履修生として許可することができる。

- (1) 本学大学院の学生
- (2) 本学交換留学生及び本学別科の学生
- (3) 本学通信教育課程の学生及び創価女子短期大学の学生
- (4) 本学と単位互換協定を締結している他大学等の学生
- (5) 八王子学園都市大学の受講生
- (6) アドバンスドプレースメントを受講する高校生

- 2 特別履修生の諸納付金は、別表第19のとおりとする。
- 3 特別履修生については、別に定めるところを除き、本学則を準用する。

(外国人学生)

第48条 本学に入学を希望する外国人については、選考のうえ入学を許可することができる。

- 2 外国人学生については、別に定めるところを除き、本学則を準用する。

第12章 図書館、研究所

(図書館)

第49条 本学に図書館を置き、図書その他の文献及び研究資料を収集管理し、教職員及び学生の閲覧に供する。

- 2 図書館に関する規定は、別に定める。

(研究所)

第50条 本学に研究所を置くことができる。

- 2 研究所に関する規定は、別に定める。

第13章 公開講座

(公開講座)

第51条 本学に、基礎科学及び応用科学に関する公開講座を設けることができる。

第14章 厚生、保健施設

(学生寮)

第52条 本学に学生寮を置く。

- 2 学生寮に関する規定は、別に定める。

(保健センター、学生相談室)

第53条 本学に保健センターを置き、保健衛生をつかさどる。

2 本学に学生相談室を置き、各種相談をつかさどる。

附 則

本学則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則（昭和47年4月1日）

本学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則（昭和48年4月1日）

1 本学則は、昭和48年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、現に在学する学生に係る第9条第2項及び第11条第4号については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（昭和50年4月1日）

1 本学則は、昭和50年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、現に在学する学生に係る第11条第1項第2号及び別表第1、別表第4については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（昭和51年4月1日）

1 本学則は、昭和51年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、現に在学する学生に係る第11条第1項第4号、第11条の4、第40条、別表第2、別表第3、別表第5及び別表第9については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（昭和52年4月1日）

1 本学則は、昭和52年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、現に在学する学生に係る第40条、別表第3、別表第9については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（昭和53年4月1日）

1 本学則は、昭和53年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、現に在学する学生に係る別表第2、別表第4、別表第5、別表第7、別表第8、別表第10については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

3 第40条第1号検定料については、昭和53年度入学生から適用する。

附 則（昭和54年4月1日）

1 本学則は、昭和54年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、現に在学する学生に係る第40条の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（昭和55年4月1日）

1 本学則は、昭和55年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、昭和53年以前に在学した学生に係る第40条及び昭和54年以前に在学した学生に係る別表第3、別表第7、別表第8、別表第10及び別表第11の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

3 第40条第1号の検定料については、昭和55年度入学志願者から適用する。

附 則（昭和56年4月1日）

1 本学則は、昭和56年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、昭和53年以前に在学した学生に係る第40条及び昭和55年以前に在学した学生に係る第11条第1項第4号及び別表第2、別表第6、別表第8、別表第10、及び別表第11の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（昭和57年4月1日）

1 本学則は、昭和57年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、昭和56年以前に在学した学生に係る別表第5の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

3 第40条第1号の検定料については、昭和57年度入学志願者から、また第47条第2項第1号及び第47条の2第2項第1号の選考料については、昭和57年度志願者から、それぞれ適用する。

附 則（昭和58年4月1日）

1 本学則は、昭和58年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、昭和57年以前に在学した学生に係る第40条及び別表第1、別表第3、別表第4、

別表第6、別表第7、別表第8の適用については、本学則にかかわらずなお従前の例による。

附 則（昭和59年4月1日）

- 1 本学則は、昭和59年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、昭和58年以前に在学した学生に係る第40条及び別表第2、別表第3、別表第5、別表第6、別表第7、別表第8の適用については、本学則にかかわらずなお従前の例による。

附 則（昭和60年4月1日）

- 1 本学則は、昭和60年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、昭和59年以前に在学した学生に係る第11条、第40条、第47条、第47条の2及び別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7、別表第8の適用については、本学則にかかわらずなお従前の例による。

附 則（昭和61年4月1日）

- 1 本学則は、昭和61年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、昭和60年以前に在学した学生に係る第4条、第11条の2、第11条の3、第40条、第47条、第47条の2及び別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7、別表第8の適用については、本学則にかかわらずなお従前の例による。

附 則（昭和62年4月1日）

- 1 本学則は、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、昭和61年以前に在学した学生に係る第40条、第47条、第47条の2及び、別表第2、別表第3、別表第6、別表第8の適用については本学則にかかわらずなお従前の例による。

附 則（昭和63年4月1日）

- 1 本学則は、昭和63年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、昭和62年以前に在学した学生に係る第11条、第40条、及び別表第5の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成元年4月1日）

- 1 本学則は、平成元年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、昭和63年以前に在学した学生に係る第11条、第11条の2、第11条の4、第40条、別表第1、別表第4、別表第8、別表第9、別表第10、別表第11及び別表第12の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成2年4月1日）

- 1 本学則は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、平成元年度以前に在学した学生に係る第11条、第11条の2、第11条の3第11条の4、第11条の5、第40条、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第10、別表第11、別表第12、別表第13、別表第14、別表第15及び別表第16の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

- 3 日本語日本文学科並びに外国語学科については、第4条にかかわらず平成2、3、4年度の総定員は次のとおりとする。

	平成2年度	平成3年度	平成4年度
日本語日本文学科	50人	100人	150人
外国語学科			
中国語専攻	30人	60人	90人
ロシア語専攻	30人	60人	90人

附 則（平成3年4月1日）

- 1 本学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、平成2年度以前に入学した学生に係る第4条、第9条、第11条、第11条の2、第11条の4、第11条の5、第18条、第40条、第47条、第47条の2、別表第1、別表第2、別表第10、別表第13及び別表第14の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。ただし、別表第1及び別表第2のうち、教員免許状取得に係る科目については、平成2年度に入学した学生にも適用する。
- 3 本学則施行の際、第11条の3、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7、別表第11

及び別表第15については、平成2年度に入学した学生にも適用する。

- 4 情報システム学科並びに生物工学科については、第4条にかかわらず平成3、4、5年度の総定員は次のとおりとする。

	平成3年度	平成4年度	平成5年度
情報システム学科	80人	160人	240人
生物工学科	80人	160人	240人

- 5 経営学科並びに教育学科については、第4条にかかわらず平成3年度から平成11年度の入学定員は次のとおりとする。

経営学科 300名  
教育学科 100名

附 則（平成4年4月1日）

- 1 本学則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第17条及び第18条については、平成4年2月1日から適用する。
- 2 本学則施行の際、平成3年度以前に入学した学生に係わる第12条及び別表第3の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成5年4月1日）

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、第11条の3、別表第2、別表第3、別表第10、別表第11、別表第15、別表第17及び別表第18については、平成4年度に入学した学生にも適用する。

附 則（平成6年4月1日）

- 1 本学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、平成5年度以前に入学した学生に係わる第11条別表第1及び別表第3の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成7年4月1日）

- 1 本学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 平成6年度以前に入学した学生に係る第4条、第9条、第11条、第11条の2、第11条の3及び別表第1から別表第18までの適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成8年4月1日）

- 1 本学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、改正後の別表第1-1については、平成7年度以降に入学した学生に適用する。
- 3 平成7年度以前に入学した学生に係る別表第11、別表第12、別表第15及び別表第16の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成9年4月1日）

- 1 本学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、平成8年度以前に入学した学生に係る別表第11及び別表第14の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成10年4月1日）

- 1 本学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、別表第18の変更については、平成9年度に入学した学生にも適用し、平成8年度以前に入学した学生についてはなお従前の例による。

附 則（平成11年4月1日）

- 1 本学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、平成10年度以前に入学した学生に係る第9条、第10条、第11条、第11条の2、第16条、第40条、第41条及び別表第1から第18までの適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成12年4月1日）

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 経営学部経営学科並びに教育学部教育学科については、第4条にかかわらず平成12年度から平成16年度の入学定員は、次のとおりとする。

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
経営学部経営学科	290名	280名	270名	260名	250名
教育学部教育学科	96名	92名	88名	84名	80名

附 則（平成13年4月1日）

- 1 本学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、平成12年度以前に入学した学生に係る第11条、第11条の2第3項及び第4項、第17条第2項、別表第3及び別表第10については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 本学則施行の際、第11条の3、別表第13及び別表第15の適用については、平成12年度に入学した学生に遡及するものとし、それ以前に入学した学生はなお従前の例による。
- 4 本学則施行の際、別表第1、別表第2、別表第5、別表第7、別表第9、別表第11及び別表第12の適用については、平成11年度に入学した学生に遡及するものとし、それ以前に入学した学生はなお従前の例による。

附 則（平成14年4月1日）

- 1 本学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、別表第3、別表第11及び別表第12の変更については、平成11年度に入学した学生に遡及して適用するものとする。

附 則（平成15年4月1日）

- 1 本学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、平成14年度以前に入学した学生に係る第4条、第11条、第11条の2、第11条の3及び別表第13から別表第19については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 生命情報工学科および環境共生工学科については、第4条にかかわらず平成15年度から平成17年度の収容定員は次のとおりとする。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
生命情報工学科	310	300	290
環境共生工学科	60	120	180

附 則（平成16年4月1日）

- 1 本学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 経営学部経営学科並びに教育学部教育学科については、第4条にかかわらず平成16年度から平成18年度の収容定員は、次のとおりとする。

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
経営学部経営学科	1,060名	1,030名	1,010名
教育学部教育学科	344名	332名	324名

附 則（平成17年4月1日）

本学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成18年4月1日）

- 1 本学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 経済学部経済学科、教育学部教育学科及び児童教育学科は、第4条にかかわらず、平成18年度から平成20年度の収容定員を次のとおりとする。

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
経済学部経済学科	1,150名	1,100名	1,050名
教育学部教育学科	344名	360名	380名
教育学部児童教育学科	310名	340名	370名

附 則（平成19年4月1日）

- 1 本学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、平成18年度以前に入学した学生に係る第11条、第11条の2、第16条、第17条及び別表第1から第16までの適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年4月1日）

本学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成21年3月28日）

本学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月27日学則第4号）

本学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成22年4月1日学則第1号）

本学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成22年5月25日学則第2号）

本学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成22年10月2日学則第4号）

本学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成23年3月24日学則第6号）

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月29日学則第3号）

1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日に在学し、かつ改正前の学則の定めによって学芸員の資格の取得をしようとする者に係る規定並びに学芸員に関する科目及び単位数については、なお従前の例による。

附 則（平成24年4月27日学則第1号）

1 本学則は、平成25年4月1日から施行する。

2 法学部法律学科、文学部人間学科、教育学部教育学科、工学部情報システム工学科、工学部生命情報工学科及び看護学部看護学科は、第4条にかかわらず、平成25年度から平成27年度の収容定員を次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
法学部法律学科	1,150名	1,100名	1,050名
文学部人間学科	1,540名	1,520名	1,500名
教育学部教育学科	380名	360名	340名
工学部情報システム工学科	310名	300名	290名
工学部生命情報工学科	260名	240名	220名
看護学部看護学科	80名	160名	240名

附 則（平成24年8月24日学則第2号）

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月29日学則第6号）

1 本学則は、平成26年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、平成25年度以前に入学した学生に係る第4条、第9条、第11条、第11条の3及び別表第1から別表第15までの適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

3 経済学部経済学科、経営学部経営学科、工学部情報システム工学科、工学部生命情報工学科、工学部環境共生工学科、理工学部理工学科、国際教養学部国際教養学科は、第4条にかかわらず、平成26年度から平成28年度の収容定員を次のとおりとする。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経済学部経済学科	950名	900名	850名
経営学部経営学科	950名	900名	850名
工学部情報システム工学科	230名	150名	70名
工学部生命情報工学科	190名	120名	50名
工学部環境共生工学科	180名	120名	60名
理工学部理工学科	180名	360名	540名
国際教養学部国際教養学科	80名	160名	240名

附 則（平成25年3月29日学則第7号）

本学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年5月21日学則第1号）

1 本学則は、平成26年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、平成25年度以前に入学した学生に係る第4条、第9条、第11条、第11条の3及

び別表第1から別表第16までの適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

- 3 工学部情報システム工学科、工学部生命情報工学科、工学部環境共生工学科、理工学部情報システム工学科、理工学部理工学科は、第4条にかかわらず、平成26年度から平成28年度の収容定員を次のとおりとする。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
工学部情報システム工学科	230名	150名	70名
工学部生命情報工学科	190名	120名	50名
工学部環境共生工学科	180名	120名	60名
理工学部情報システム工学科	70名	140名	210名
理工学部理工学科	110名	220名	330名

附 則（平成25年9月4日学則第3号）

この学則は、平成25年9月4日から施行する。

附 則（平成26年1月25日学則第4号）

- 1 本学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、平成25年度以前に入学した学生に係る第4条、第9条、第11条、第11条の3及び別表第1から別表15までの適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 経済学部経済学科、経営学部経営学科、国際教養学部国際教養学科は、第4条にかかわらず、平成26年度から平成28年度の収容定員を次のとおりとする。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経済学部経済学科	950名	900名	850名
経営学部経営学科	950名	900名	850名
国際教養学部国際教養学科	80名	160名	240名

附 則（平成26年3月22日学則第7号）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年5月24日学則第1号）

- 1 本学則は、平成26年5月24日から施行する。
- 2 本学則施行の際、別表第7、別表第8および別表第9の適用については、平成26年度に入学した学生に遡及するものとし、それ以前に入学した学生はなお従前の例による。

附 則（平成26年5月24日学則第2号）

- 1 本学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、平成26年度以前に入学した学生に係る第4条、第9条、第11条、第11条の3及び別表第1から別表16までの適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 工学部情報システム工学科、工学部生命情報工学科、工学部環境共生工学科、理工学部情報システム工学科、理工学部共生創造理工学科は、第4条にかかわらず、平成27年度から平成29年度の収容定員を次のとおりとする。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
工学部情報システム工学科	220名	140名	70名
工学部生命情報工学科	170名	100名	50名
工学部環境共生工学科	180名	120名	60名
理工学部情報システム工学科	80名	160名	240名
理工学部共生創造理工学科	100名	200名	300名

附 則（平成26年12月20日学則第4号）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成27年1月31日学則第8号）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7および別表第8の適用については、平成26年度生に遡及するものとし、その外の学生はなお従前の例による。

附 則（平成27年3月20日学則第11号）

- 1 本学則は、平成27年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、平成26年度以前に入学した学生に係る第11条の3及び別表第7、第8の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年1月23日学則第7号）

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月25日学則第8号）

1 本学則は、平成28年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、平成27年度以前に入学した学生に係る第11条の3については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年8月13日学則第1号）

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年1月28日学則第4号）

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年1月28日学則第5号）

1 本学則は、平成30年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、平成29年度以前に入学した学生に係る第11条の3適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

3 経済学部経済学科、法学部法律学科、文学部人間学科、経営学部経営学科、国際教養学部国際教養学科は、第4条にかかわらず、平成30年度から平成32年度の収容定員を次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
経済学部経済学科	808名	816名	806名
法学部法律学科	998名	996名	986名
文学部人間学科	1,500名	1,520名	1,500名
経営学部経営学科	816名	832名	822名
国際教養学部国際教養学科	330名	340名	350名

附 則（平成29年3月27日学則第11号）

本学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年2月17日学則第1号）

1 本学則は、平成30年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、平成29年度以前に入学した学生に係る第11条第1項及び別表第2（その1）、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7、別表第8、別表第12、別表第13、別表第14の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年3月20日学則第5号）

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年1月26日学則第4号）

1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、平成30年度以前に入学した学生に係る第11条第1項、第4項、第16条第1項、第4項及び別表第2（その1）、別表第2（その2）、別表第4、別表第8、別表第9、別表第10、別表第13、別表第14、別表第15の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。但し、別表第3については、平成29年度入学生まで遡及して適用する。

附 則（平成31年3月22日学則第13号）

1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、平成26年度以前生（看護学部は平成28年度以前生、国際教養学部生は平成29年度以前生）に係る第40条における学費は、入学金、授業料、実験実習費、施設設備費、保健費とする。

附 則（令和2年3月26日学則第1号）

1 本学則は、令和2年4月1日から施行する。

2 本学則施行の際、2019年度以前に入学した学生に係る第11条の6、別表第2（その1）、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7、別表第10、別表第12、別表第15、別表第17および別表第18の（3）における社会教育主事課程及び公認心理師養成課程の適用については、本学則にか

かわらず、なお従前の例による。

- 3 前項にかかわらず、別表第4における新設科目、コース指定及び「会社法」の廃止、別表第6及び別表第10については、2019年度入学生まで遡及して適用する。

附 則（令和2年5月25日学則第1号）

本学則は、令和2年6月1日から施行する。

附 則（令和3年1月23日学則第6号）

- 1 本学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、別表第4については、2019年度生まで遡及して適用する。
- 3 2020年度以前生に係る別表第5、別表第7、別表第16および別表第17の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月26日学則第7号）

- 1 本学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、2020年度以前に入学した学生に係る、別表第2（その1）の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 本学則施行の際、別表第4のGLP科目の履修年次については、2019年度生まで遡及して適用する。また、同別表の国際平和・外交コースを追加した科目については、2020年度生まで遡及して適用する。
- 4 本学則施行の際、別表第8については、2018年度生まで遡及して適用する。

附 則（令和3年3月26日学則第13号）

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月26日学則第15号）

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、2021年度以前に入学した学生に係る第11条第1項及び別表第1、別表第2（その1）、別表第2（その2）、別表第11の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和4年1月22日学則第1号）

- 1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 理工学部情報システム工学科及び理工学部共生創造理工学科は、第4条にかかわらず、令和5年度から令和7年度の収容定員を次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
理工学部情報システム工学科	330名	340名	350名
理工学部共生創造理工学科	390名	380名	370名

附 則（令和4年3月25日学則第3号）

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、2021年度以前に入学した学生に係る第11条第1項及び別表第2（その1）、別表第3、別表第7、別表第8、別表第13、別表第14の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 本学則施行の際、別表第5及び別表第6の適用については、2018年度以降に入学した学生まで遡及して適用する。
- 4 本学則施行の際、別表第18の適用については、2022年度入学試験まで遡及して適用する。

附 則（令和5年3月24日学則第7号）

- 1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、2022年度以前に入学した学生に係る第11条第1項及び別表第2（その1）、別表第2（その2）、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7、別表第8、別表第9、別表第10、別表第12、別表第13、別表第14、別表第15及び別表第17の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 本学則施行の際、別表第2（その1）及び別表第2（その2）のキャリア教育系科目群並びに別表第5のEMP科目の適用については、2018年度に入学した学生まで遡及して適用する。

附 則（令和6年3月28日学則第12号）

- 1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、2023年度以前生に係る別表第4、別表第7、別表第8、別表第10、別表第12、別表第13及び別表第14の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 本学則施行の際、別表第12の「Special Lecture XⅢ」及び「Special Lecture XⅣ」の2科目については、2018年度入学生まで遡及して適用する。
- 4 本学則施行の際、別表第7の「学校体験活動Ⅰ～Ⅳ（中）」及び別表第8の「学校体験活動Ⅰ～Ⅳ（幼・小）」の適用については、第2項にかかわらず、2021年度入学生から2023年度生までは「学校インターシップⅠ～Ⅳ」と科目を読み替えて適用する。
- 5 本学則施行の際、別表第18の各入試の検定料については、令和5年9月1日に遡及して適用する。

附 則（令和7年1月23日学則第3号）

- 1 本学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、2024年度以前に入学した学生及び別科特別履修生に係る別表第2（その1）及び別表第2（その2）の日本語日本文化科目群の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 本学則施行の際、別表第8及び別表第9の適用については、2024年度入学生まで遡及して適用する。
- 4 本学則施行の際、別表第18の適用については、2025年度入学試験まで遡及して適用する。

附 則（令和7年3月27日学則第6号）

- 1 本学則は、令和8年4月1日から施行する
- 2 本学則施行の際、現に在学する学生に係る第4条、第11条第1項及び第11条の3第3項並びに別表第1から別表第10、別表第12から別表第15及び別表第17から別表第19の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 経済学部経済学科、経営学部経営学科、経済経営学部ビジネス学科、法学部法律学科、法学部法律政治学科、文学部人間学科、教育学部教育学科、教育学部心理・教育学科、教育学部児童教育学科、理工学部共生創造理工学科、理工学部生命理工学科、理工学部グリーンテクノロジー学科は、第4条にかかわらず、令和8年度から令和10年度の収容定員を次のとおりとする。

学部学科	令和8年度	令和9年度	令和10年度
経済学部経済学科	606名	416名	208名
経営学部経営学科	622名	432名	216名
経済経営学部ビジネス学科	280名	560名	860名
法学部法律学科	736名	496名	248名
法学部法律政治学科	140名	280名	420名
文学部人間学科	1380名	1280名	1155名
教育学部教育学科	240名	160名	80名
教育学部心理・教育学科	85名	170名	255名
教育学部児童教育学科	385名	370名	355名
理工学部共生創造理工学科	270名	180名	90名
理工学部生命理工学科	55名	110名	165名
理工学部グリーンテクノロジー学科	60名	120名	180名

附 則（令和8年3月26日学則第5号）

- 1 本学則は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 本学則施行の際、2025年度生以前の学生に係る学則第11条の3第2項、第11条の4第2項、第11条の5第2項、第11条の6第2項及び第11条の7、別表（別表第2から別表第12、別表第13（1）、別表第13（2）及び別表第14から別表第17）の適用については、本学則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 本学則施行の際、別表（別表第18）については、令和7年4月1日に訴求し、適用する。

#### 別表第1

（各学部の人材養成の目的）

- （1） 経済経営学部は、次の知識並びに態度を身につけた学生を育成することを目的とする。

- ア 理論と実践を相互に学ぶ教育を通して、社会やビジネス等の場で活躍できる問題発見・解決能力と論理的思考力を備えた人材を育成する。
- イ 語学教育を通して、グローバル社会で役立つコミュニケーション力を備えた人材を育成する。
- ウ 人間主義に基づく学部教育を通して、世界の平和と人類の幸福に貢献するリーダーシップ力を備えた人材を育成する。
- (2) 法学部は、法律学・政治学の研究と教育を通して、次のことを目的とする。
- ア 民衆の側に立ち、正義の実現のために行動する健全なリーガルマインドを身につけた人材を育成する。
- イ 人権を尊重し、平和実現のためにたゆまず努力を続ける人材を世界に輩出する。
- ウ 人間主義を基調とした新たな法文化創造の担い手を養成する。
- (3) 文学部は、「生命の尊厳の探究者たれ」「人類を結ぶ世界市民たれ」「人間主義の勝利の指導者たれ」との三指針を掲げ、自他共の幸福を目指す「人間学」と、言語、文学、哲学、社会、歴史、人類文化などの広範な文化領域に関する教育および研究を通して、次のような人材を養成する。
- ア 「生命の尊厳の探究者」としての高い倫理観と価値判断力、「世界市民」としての寛容性・協働性、「人間主義の指導者」としての主体性・創造性・自律性・リーダーシップ等の高い資質を具えた人材。
- イ 自身の幸福（ウェルビーイング）を基盤として、社会や世界にもウェルビーイングを拡げていくことのできる、創造的な「人間力」を備えた人材。
- ウ 言語、文学、哲学、社会、歴史、人類文化などに関する専門的知見、および課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション力等の汎用的能力を身につけ、自らが生きる世界において自他共の幸福を実現していける人材。
- (4) 教育学部は、心理・教育学科、児童教育学科ともに、建学の精神にある人間主義に基づいた学問研究と教育実践を通して、将来のさまざまな場面における問題を、教育学的・心理学的視点から、高度な知識と技術をもって解決できる人間を育成する。
- (5) 理工学部は、建学の精神を尊び、他者に尽くす哲学的精神性を基盤として、工学・理工学の基礎力と応用力さらには展開力、語学能力、コミュニケーション能力に裏打ちされた国際適応力、総合的人間力・リーダーシップを有する人材を育成する。
- (6) 看護学部は、幅広い教養を基盤として、看護に関わる「知」「技」「人間力」を養い、社会の中で継起する新たな課題・ニーズに対して果敢に挑み、時代の要請に応える看護学を探究するとともに、ヒューマンケアを通じて社会に貢献できる人材の養成を目的とする。
- (7) 国際教養学部は、グローバル化が進展する社会に生ずる諸課題に対する学際的理解・分析・解決方法の提示を通じて、以下の資質と能力を備える人材を育成する。
- ア 実践的英語コミュニケーション能力と異文化理解力
- イ 人文学・社会科学分野に亘る学際的知識
- ウ 創造的な課題解決能力

別表第2（その1）

共通科目（看護学部を除く）

科目群	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	主要授業科目	備考
			必修	選択			
基礎科目	初年次セミナー	30		2	1	○	※理工学部生以外履修可
	初年次セミナー（生命理工）	15		1	1	○	※生命理工学科生のみ履

							修可
	初年次プロジェクト（情報システム工）	30		2	1	○	※情報システム工学科生のみ履修可
	初年次プロジェクト（グリーンテクノロジー）	30		2	1	○	※グリーンテクノロジー学科生のみ履修可
アカデミックライティング	アカデミックライティングⅠ	15		1	1	○	※国際教養学部を除く
	アカデミックライティングⅡ	15		1	1	○	※経済経営学部・理工学部・国際教養学部を除く
	アカデミックライティングⅢ	30		2	1～4		
思考技術	思考技術Ⅰ	15		1	1	○	※経済経営・法学部のみ

	思考技術Ⅱ	15		1	1	○ ※法学部のみ	
大学 科目	人間教育論A	30		2	1～4	○	
	人間教育論B	30		2	1～4	○	
	創価教育論	30		2	1～4	○	
	S O K A e d u c a t i o n	15		1	1～4		
	現代文明論	30		2	1～4		
	大学史の中の創価大学	30		2	1～4		
	共通基礎演習	30		2	1～4		
	人間教育論応用	30		2	1～4		
	創価女性教育の理念と実践	30		2	1～4		
	G C P チュートリアルⅠ	30		1	1～4		※G C P 所属者のみ履修可
	G C P チュートリアルⅡ	30		1	1～4		※G C P 所属者のみ履修可
	G C P チュートリアルⅢ	30		1	2～4		※G C P 所属者のみ履修可
G C P チュートリアルⅣ	30		1	2～		※G C P 所属	

					4		者のみ履修 可
言語 科目	英語	E n g l i s h I	60		2	1 ~ 4	○ ※ 法・ 文・ 教育 学部 のみ
		E n g l i s h II	60		2	1 ~ 4	○ ※ 法・ 文・ 教育 学部 のみ
		E n g l i s h III	30		1	1 ~ 4	○ ※ 法・ 文・ 教育 学部 のみ
		E n g l i s h IV	30		1	1 ~ 4	○ ※ 法・ 文・ 教育 学部 のみ
		T e s t P r e p a r a t i o n T O E F L I	30		1	1 ~ 4	
		T e s t P r e p a r a t i o n T O E F L II	30		1	1 ~ 4	
		T e s t P r e p a r a t i o	30		1	1 ~	

n T O E I C I				4		
T e s t P r e p a r a t i o n n T O E I C I I	30		1	1 ~ 4		
E n g l i s h S u m m e r I n t e n s i v e	60		2	1 ~ 4		
T O E F L i B T S u m m e r I n t e n s i v e	30		1	1 ~ 4		
I E L T S S u m m e r I n t e n s i v e	30		1	1 ~ 4		
E n g l i s h W i n t e r I n t e n s i v e	60		2	1 ~ 4		
T O E F L i B T W i n t e r I n t e n s i v e	30		1	1 ~ 4		
I E L T S W i n t e r I n t e n s i v e	30		1	1 ~ 4		
E A P f o r G l o b a l C i t i z e n s h i p I	60		2	1 ~ 4		※ G C P 所 属 者 の み 履 修 可
E A P f o r G l o b a l C i t i z e n s h i p I I	60		2	1 ~ 4		※ G C P 所 属 者 の み 履 修 可
E A P f o r G l o b a l C i t i z e n s h i p I I I	60		2	2 ~ 4		※ G C P 所 属 者 の み 履 修 可
E A P f o r G l o b a l C i t i z e n s h i p I V	60		2	2 ~ 4		※ G C P 所 属 者 の み 履 修 可
A c a d e m i c F o u n d a t i o n s f o r G l o b a l C i t i z e n s h i p I	60		2	1 ~ 4		※ G C P 所 属 者 の み 履 修 可
A c a d e m i c F o u n d a t i o n s f o r G l o b a l C i t i z e n s h i p I I	60		2	1 ~ 4		※ G C P 所 属 者 の み 履 修 可

	Academic Foundations for Global Citizenship III	60		2	2～4		※GCP所属者のみ履修可
	Academic Foundations for Global Citizenship IV	60		2	2～4		※GCP所属者のみ履修可
	English for Study Abroad I	60		2	1～4		
	English for Study Abroad II	60		2	1～4		
	TOEFL Preparation for Study Abroad I	60		2	1～4		
	TOEFL Preparation for Study Abroad II	60		2	1～4		
ドイツ語	ドイツ語 I	60		2	1～4		
	ドイツ語 II	60		2	1～4		
	ドイツ語 III	30		1	1～4		
	ドイツ語 IV	30		1	1～4		
	ドイツ語 V	30		1	1～4		
	ドイツ語 VI	30		1	1～4		
フランス語	フランス語 I	60		2	1～4		
	フランス語 II	60		2	1～4		
	フランス語 III	30		1	1～		

				4		
	フランス語Ⅳ	30		1	1～4	
	フランス語Ⅴ	30		1	1～4	
	フランス語Ⅵ	30		1	1～4	
中国語	中国語Ⅰ	60		2	1～4	
	中国語Ⅱ	60		2	1～4	
	中国語Ⅲ	30		1	1～4	
	中国語Ⅳ	30		1	1～4	
	中国語Ⅴ	30		1	1～4	
	中国語Ⅵ	30		1	1～4	
ロシア語	ロシア語Ⅰ	60		2	1～4	
	ロシア語Ⅱ	60		2	1～4	
	ロシア語Ⅲ	30		1	1～4	
	ロシア語Ⅳ	30		1	1～4	
	ロシア語Ⅴ	30		1	1～4	
	ロシア語Ⅵ	30		1	1～4	
スペイン	スペイン語Ⅰ	60		2	1～	

ン語				4		
	スペイン語Ⅱ	60		2	1～4	
	スペイン語Ⅲ	30		1	1～4	
	スペイン語Ⅳ	30		1	1～4	
	スペイン語Ⅴ	30		1	1～4	
	スペイン語Ⅵ	30		1	1～4	
イタリア語	イタリア語Ⅰ	60		2	1～4	
	イタリア語Ⅱ	60		2	1～4	
	イタリア語Ⅲ	30		1	1～4	
	イタリア語Ⅳ	30		1	1～4	
	イタリア語Ⅴ	30		1	1～4	
	イタリア語Ⅵ	30		1	1～4	
韓国語	韓国語Ⅰ	60		2	1～4	
	韓国語Ⅱ	60		2	1～4	
	韓国語Ⅲ	30		1	1～4	
	韓国語Ⅳ	30		1	1～4	
	韓国語Ⅴ	30		1	1～4	

				4		
	韓国語Ⅵ	30		1	1～ 4	
ポルトガル語	ポルトガル語Ⅰ	30		1	1～ 4	
	ポルトガル語Ⅱ	30		1	1～ 4	
	ポルトガル語Ⅲ	30		1	1～ 4	
	ポルトガル語Ⅳ	30		1	1～ 4	
アラビア語	アラビア語Ⅰ	30		1	1～ 4	
	アラビア語Ⅱ	30		1	1～ 4	
	アラビア語Ⅲ	30		1	1～ 4	
	アラビア語Ⅳ	30		1	1～ 4	
スワヒリ語	スワヒリ語Ⅰ	30		1	1～ 4	
	スワヒリ語Ⅱ	30		1	1～ 4	
	スワヒリ語Ⅲ	30		1	1～ 4	
	スワヒリ語Ⅳ	30		1	1～ 4	
タイ語	タイ語Ⅰ	30		1	1～ 4	
	タイ語Ⅱ	30		1	1～ 4	
	タイ語Ⅲ	30		1	1～	

				4		
	タイ語Ⅳ	30		1	1～ 4	
トルコ語	トルコ語Ⅰ	30		1	1～ 4	
	トルコ語Ⅱ	30		1	1～ 4	
	トルコ語Ⅲ	30		1	1～ 4	
	トルコ語Ⅳ	30		1	1～ 4	
ブルガリア語	ブルガリア語Ⅰ	30		1	1～ 4	
	ブルガリア語Ⅱ	30		1	1～ 4	
	ブルガリア語Ⅲ	30		1	1～ 4	
	ブルガリア語Ⅳ	30		1	1～ 4	
インドネシア語	インドネシア語Ⅰ	30		1	1～ 4	
	インドネシア語Ⅱ	30		1	1～ 4	
	インドネシア語Ⅲ	30		1	1～ 4	
	インドネシア語Ⅳ	30		1	1～ 4	
ベトナム語	ベトナム語Ⅰ	30		1	1～ 4	
	ベトナム語Ⅱ	30		1	1～ 4	
	ベトナム語Ⅲ	30		1	1～	

					4		
		ベトナム語Ⅳ	30		1	1～4	
その他		言語演習Ⅰ	30		1	1～4	
		言語演習Ⅱ	30		1	1～4	
		言語演習Ⅲ	30		1	1～4	
		言語演習Ⅳ	30		1	1～4	
日本語・ 日本文化科目 (言語科目に 含む)		日本語Ⅰ	60		2	1～4	※外国人留学生のみ履修可
		日本語Ⅱ	60		2	1～4	
		日本語Ⅲ	30		1	1～4	
		日本語Ⅳ	30		1	1～4	
		日本語Ⅴ	30		1	1～4	
		日本語Ⅵ	30		1	1～4	
		日本語基礎	90		3	1～4	
		日本語総合入門	150		5	1～4	
		日本語総合Ⅰ	150		5	1～4	
		日本語総合Ⅱ	150		5	1～4	
		日本語演習入門	30		1	1～	

				4	
日本語演習 I	30		1	1 ~ 4	
日本語読解 II	30		1	1 ~ 4	
日本語読解 III A	30		1	1 ~ 4	
日本語読解 III B	30		1	1 ~ 4	
日本語読解 IV A	30		1	1 ~ 4	
日本語読解 IV B	30		1	1 ~ 4	
日本語読解 V A	30		1	1 ~ 4	
日本語読解 V B	30		1	1 ~ 4	
日本語文法 II	30		1	1 ~ 4	
日本語文法 III	30		1	1 ~ 4	
日本語文法 IV	30		1	1 ~ 4	
日本語口頭表現入門	30		1	1 ~ 4	
日本語口頭表現 I	30		1	1 ~ 4	
日本語口頭表現 III A	30		1	1 ~ 4	
日本語口頭表現 III B	30		1	1 ~ 4	
日本語口頭表現 IV A	30		1	1 ~	

				4	
日本語口頭表現ⅣB	30		1	1～ 4	
日本語表現ⅤA	30		1	1～ 4	
日本語表現ⅤB	30		1	1～ 4	
日本語聴解入門	30		1	1～ 4	
日本語聴解Ⅰ	30		1	1～ 4	
日本語聴解Ⅱ	30		1	1～ 4	
日本語聴解ⅢA	30		1	1～ 4	
日本語聴解ⅢB	30		1	1～ 4	
日本語聴解ⅣA	30		1	1～ 4	
日本語聴解ⅣB	30		1	1～ 4	
日本語聴解ⅤA	30		1	1～ 4	
日本語聴解ⅤB	30		1	1～ 4	
日本語文章表現入門	30		1	1～ 4	
日本語文章表現Ⅰ	30		1	1～ 4	
日本語文章表現Ⅲ	30		1	1～ 4	
日本語文章表現Ⅳ	30		1	1～	

					4		
		初級漢字	30		1	1～4	
		日本伝統文化	30		2	1～4	外国人留学生のみ履修可。但し卒業単位に含まれない自由科目とする。
世界 市民 教育 科目	平和・ 人権・ 環境・ 開発科 目	平和学入門	30		2	1～4	○ ※国際教養学部を除く
		平和と人権	30		2	1～4	○ ※国際教養学部を除く
		ダイバーシティ&インクルージョン入門	30		2	1～4	
		ライフイベントとジェンダー	30		2	3～4	○ ※国際教養学部を除く
		環境と開発	30		2	1～4	○ ※国際教養学部を除く

環境問題入門	30		2	1～4	○ ※国際教養学部を除く	
現代マスコミ論	30		2	1～4		
地域研究 A	30		2	1～4	○ ※国際教養学部を除く	
地域研究 B	30		2	1～4	○ ※国際教養学部を除く	
日本研究	30		2	1～4		
世界市民教育演習 A	30		2	2～4		
世界市民教育演習 B	30		2	2～4		
グローバル社会と女性のエンパワーメント	30		2	1～4		
プログラムゼミⅢ	30		2	2～4		※G C P 所属者のみ履修可
プログラムゼミⅣ	30		2	2～4		※G C P 所属者のみ履修可

サービス スラー ニン グ・リ ーダー シップ 科目	留学のための国際理解	30		2	1～ 4		
	国際ボランティア実習	60		2	1～ 4		
	ボランティア実習Ⅰ	30		1	1～ 4		
	ボランティア実習Ⅱ	30		1	2～ 4		
	八王子学	30		2	1～ 4		
	総合科目特講	30		2	1～ 4		
	トップが語る現代経営A	30		2	1～ 4	○ ※国際教養学部を除く	
	トップが語る現代経営B	30		2	1～ 4	○ ※国際教養学部を除く	
	スマート・リーダーシップⅠ	30		2	1～ 2		
	スマート・リーダーシップⅡ	30		2	2～ 4		
スマート・リーダーシップⅢ	30		2	2～ 4			
プログラムゼミⅡ	30		2	1～ 4		※GCP所属者のみ履修可	

数 理・ デー タサイ エンス・ 自然 科目		データサイエンス入門	30	2		1	○	
		A I 基礎	30		2	1		
		大学生のための情報・デジタルリテラシー	30		2	1		
		基礎数学 I	30		2	1～ 4		
		基礎数学 II	30		2	1～ 4		
		統計学入門 I	30		2	1～ 4		
		統計学入門 II	30		2	1～ 4		
		情報科学	30		2	1～ 4		
		生命科学	30		2	1～ 4		
		環境科学	30		2	1～ 4		
		プログラミング	30		2	1～ 4		
		社会システム・ソリューション I	30		2	1～ 4		※G C P 所属 者のみ履修 可
	社会システム・ソリューション II	30		2	2～ 4		※G C P 所属 者のみ履修 可	
人 文・ 社会・ 健康 科目	人文科学系科目	音楽	30		2	1～ 4		
		美術	30		2	1～ 4		
		文学入門	30		2	1～ 4		

	哲学入門	30		2	1～ 4		
	倫理学入門	30		2	1～ 4		
	宗教学入門	30		2	1～ 4		
	歴史入門	30		2	1～ 4		
	言語学入門	30		2	1～ 4		
社会科学系科目	法学入門	30		2	1～ 4		
	日本国憲法	30		2	1～ 4		
	ミクロ経済学入門	30		2	1～ 4		
	マクロ経済学入門	30		2	1～ 4		
	経営学入門	30		2	1～ 4		
	社会学入門	30		2	1～ 4		
	国際関係論入門	30		2	1～ 4		
	政治学入門	30		2	1～ 4		
	心理学入門	30		2	1～ 4		
	教養地理学	30		2	1～ 4		
	教育学入門	30		2	1～ 4		

健康科学系科目	体育実技 A	30		1	1 ~ 4		
	体育実技 B	30		1	1 ~ 4		
	体育実技 C	30		1	1 ~ 4		
	体育実技 D	30		1	1 ~ 4		
	体育講義	30		2	1 ~ 4		
	スポーツフィジカルサイエンス	30		2	1 ~ 4		
学際系科目	共通総合演習 A	30		2	1 ~ 4		
	共通総合演習 B	30		2	1 ~ 4		
キャリア教育系科目	キャリアデザイン基礎	30		2	1・2		
	キャリア開発フォーラム	30		2	1・2		
	ワールドビジネスフォーラム	30		2	1・2		
	グローバル社会とキャリア演習	30		2	1 ~ 4		
	留学生のためのキャリアデザイン基礎（日本語）	30		2	1 ~ 4		
	留学生のためのキャリアデザイン基礎（英語）	30		2	1 ~ 4		
	留学生のためのキャリアコミュニケーション A	30		2	1 ~ 4		
	留学生のためのキャリアコミュニケーション B	30		2	1 ~ 4		

次世代産業とキャリア演習	30		2	1～ 4		
グローバル社会と次世代産業	30		2	2～ 4		
公共キャリア演習Ⅰ	30		2	2～ 4		
公共キャリア演習Ⅱ	30		2	2～ 4		
企業研究	30		2	2～ 4		
キャリアビジョン演習A	30		2	2～ 4		
キャリアビジョン演習B	30		2	3・ 4		
キャリアビジョン演習C	30		2	3・ 4		
キャリアビジョン演習D	30		2	3・ 4		
留学生のためのキャリアビジョン演習	30		2	3・ 4		
公共キャリア演習Ⅲ	30		2	3・ 4		
公共キャリア演習Ⅳ	30		2	3・ 4		
留学生のためのキャリアコミュニケーションC	30		2	3・ 4		
留学生のためのキャリアコミュニケーションD	30		2	3・ 4		
キャリアトランジション演習	30		2	4		
インターンシップ入門	30		2	1～ 4		
インターンシップⅠ	30		1	1～		

				4		
	インターンシップⅡ	30		1	1～4	
	インターンシップⅢ	60		2	1～4	
	インターンシップⅣ	60		2	1～4	
	プログラムゼミⅠ	30		2	1～4	※GCP所属者のみ履修可
海外 研 修・ 実 習 科 目	海外短期研修（英語）Ⅰ			2	1～4	
	海外短期研修（英語）Ⅱ			2	1～4	
	海外短期研修（英語）Ⅲ			2	1～4	
	海外短期研修（英語）Ⅳ			2	1～4	
	海外短期研修（英語）Ⅴ			1	1～4	
	海外短期研修（英語）Ⅵ			1	1～4	
	海外短期研修（ドイツ語）Ⅰ			2	1～4	
	海外短期研修（ドイツ語）Ⅱ			2	1～4	
	海外短期研修（ドイツ語）Ⅲ			1	1～4	
	海外短期研修（ドイツ語）Ⅳ			1	1～4	
	海外短期研修（フランス語）Ⅰ			2	1～4	

海外短期研修（フランス語）Ⅱ			2	1～ 4		
海外短期研修（フランス語）Ⅲ			1	1～ 4		
海外短期研修（フランス語）Ⅳ			1	1～ 4		
海外短期研修（中国語）Ⅰ			2	1～ 4		
海外短期研修（中国語）Ⅱ			2	1～ 4		
海外短期研修（中国語）Ⅲ			1	1～ 4		
海外短期研修（中国語）Ⅳ			1	1～ 4		
海外短期研修（スペイン語）Ⅰ			2	1～ 4		
海外短期研修（スペイン語）Ⅱ			2	1～ 4		
海外短期研修（スペイン語）Ⅲ			1	1～ 4		
海外短期研修（スペイン語）Ⅳ			1	1～ 4		
海外短期研修（イタリア語）Ⅰ			2	1～ 4		
海外短期研修（イタリア語）Ⅱ			2	1～ 4		
海外短期研修（イタリア語）Ⅲ			1	1～ 4		
海外短期研修（イタリア語）Ⅳ			1	1～ 4		
海外短期研修（韓国語）Ⅰ			2	1～ 4		

海外短期研修（韓国語）Ⅱ			2	1～ 4		
海外短期研修（韓国語）Ⅲ			1	1～ 4		
海外短期研修（韓国語）Ⅳ			1	1～ 4		
海外短期研修（ロシア語）Ⅰ			2	1～ 4		
海外短期研修（ロシア語）Ⅱ			2	1～ 4		
海外短期研修（ロシア語）Ⅲ			1	1～ 4		
海外短期研修（ロシア語）Ⅳ			1	1～ 4		
海外短期研修（国際理解）Ⅰ			2	1～ 4		
海外短期研修（国際理解）Ⅱ			2	1～ 4		
海外短期研修（国際理解）Ⅲ			2	1～ 4		
海外短期研修（国際理解）Ⅳ			2	1～ 4		
海外短期研修（国際理解）Ⅴ			1	1～ 4		
海外短期研修（国際理解）Ⅵ			1	1～ 4		
海外インターンシップⅠ	60		2	1～ 4		
海外インターンシップⅡ	60		2	1～ 4		
海外インターンシップⅢ	60		2	1～ 4		

			海外インターンシップⅣ	60		2	1～ 4		
			海外インターンシップⅤ	30		1	1～ 4		
			海外インターンシップⅥ	30		1	1～ 4		
言語 科目	中 国 語 イ ン テ ン シ ブ コ ー ス ( C I C )		中国語Ⅰ	60		2	1～ 4		※再掲
			中国語Ⅱ	60		2	1～ 4		
			中国語Ⅲ	30		1	1～ 4		
			中国語Ⅳ	30		1	1～ 4		
			中国語Ⅴ	30		1	1～ 4		
			中国語Ⅵ	30		1	1～ 4		
			中国語コミュニケーション演習初級Ⅰ	60		2	1～ 4		
			中国語コミュニケーション演習初級Ⅱ	60		2	1～ 4		
			中国語文法初級Ⅰ	30		1	1～ 4		
			中国語文法初級Ⅱ	30		1	1～ 4		
			中国語講読初級Ⅰ	30		1	1～ 4		
			中国語講読初級Ⅱ	30		1	1～ 4		
			中国語コミュニケーション演習初中級Ⅰ	60		2	2～ 4		

		中国語コミュニケーション演習初 中級Ⅱ	60		2	2～ 4		
		中国語文法初中級Ⅰ	30		1	2～ 4		
		中国語文法初中級Ⅱ	30		1	2～ 4		
		中国語講読初中級Ⅰ	30		1	2～ 4		
		中国語講読初中級Ⅱ	30		1	2～ 4		
人 文・ 社 会・ 健 康 科 目	人 文 科 学 系 科 目	翻訳演習（日中）	30		2	3～ 4		
		翻訳演習（中日）	30		2	3～ 4		
言 語 科 目	ロ シ ア 語 イ ン テ ン シ ブ コ ー ス （ R I C ）	ロシア語Ⅰ	60		2	1～ 4	※再掲	
		ロシア語Ⅱ	60		2	1～ 4		
		ロシア語Ⅲ	30		1	2～ 4		
		ロシア語Ⅳ	30		1	2～ 4		
		ロシア語Ⅴ	30		1	3～ 4		
		ロシア語Ⅵ	30		1	3～ 4		
		ロシア語コミュニケーション初級 Ⅰ	30		1	1～ 4		
		ロシア語コミュニケーション初級 Ⅱ	30		1	1～ 4		

		ロシア語文法初級Ⅰ	30		1	1～ 4		
		ロシア語文法初級Ⅱ	30		1	1～ 4		
		ロシア語コミュニケーション中級Ⅰ	30		1	2～ 4		
		ロシア語コミュニケーション中級Ⅱ	30		1	2～ 4		
		ロシア語文法中級Ⅰ	30		1	2～ 4		
		ロシア語文法中級Ⅱ	30		1	2～ 4		
		ロシア語リーディング入門Ⅰ	30		1	2～ 4		
		ロシア語リーディング入門Ⅱ	30		1	2～ 4		
		ロシア語ライティング入門Ⅰ	30		1	2～ 4		
		ロシア語ライティング入門Ⅱ	30		1	2～ 4		
		ロシア語コミュニケーション上級Ⅰ	30		1	3～ 4		
		ロシア語コミュニケーション上級Ⅱ	30		1	3～ 4		
		ロシア語ライティング上級Ⅰ	30		1	3～ 4		
		ロシア語ライティング上級Ⅱ	30		1	3～ 4		
人 文・ 社 会・ 健康	人 文 科 学 系	ロシア語集中演習Ⅰ	30		2	3～ 4		
		ロシア語集中演習Ⅱ	30		2	3～ 4		

科目	科目							
----	----	--	--	--	--	--	--	--

同表に定めるほか、学生が他の大学において履修した連携開設科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第2（その2）

共通科目（看護学部）

科目群	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	主要授業科目	備考	
			必修	選択				
基礎科目	学術文章作法Ⅰ	30		2	1	○		
	学術文章作法Ⅱ	30		2	1～4			
	思考技術基礎	30		2	1			
大学科目	人間教育論A	30		2	1～4	○		
	人間教育論B	30		2	1～4	○		
	創価教育論	30		2	1～4	○		
	S O K A e d u c a t i o n	15		1	1～4			
	現代文明論	30		2	1～4			
	大学史の中の創価大学	30		2	1～4			
	共通基礎演習	30		2	1～4			
	人間教育論応用	30		2	1～4			
	創価女性教育の理念と実践	30		2	1～4			
言語科目	英語	EnglishⅠ	60		2	1～4	○	
		EnglishⅡ	60		2	1～4	○	
		EnglishⅢ	30		1	1～4	○	
		EnglishⅣ	30		1	1～4	○	
		Test Preparation TOEFLⅠ	30		1	1～4		
		Test Preparation TOEFLⅡ	30		1	1～4		
		Test Preparation TOEICⅠ	30		1	1～4		
		Test Preparation	30		1	1～		

		ion TOEIC II			4		
		English Summer Intensive	60		2	1~4	
		TOEFL iBT Summer Intensive	30		1	1~4	
		IELTS Summer Intensive	30		1	1~4	
		English Winter Intensive	60		2	1~4	
		TOEFL iBT Winter Intensive	30		1	1~4	
		IELTS Winter Intensive	30		1	1~4	
		English for Study Abroad I	60		2	1~4	
		English for Study Abroad II	60		2	1~4	
		TOEFL Preparation for Study Abroad I	60		2	1~4	
		TOEFL Preparation for Study Abroad II	60		2	1~4	
言語科目	ドイツ語	ドイツ語 I	60		2	1~4	
		ドイツ語 II	60		2	1~4	
		ドイツ語 III	30		1	1~4	
		ドイツ語 IV	30		1	1~4	
		ドイツ語 V	30		1	1~4	
		ドイツ語 VI	30		1	1~4	
	フランス語	フランス語 I	60		2	1~4	
		フランス語 II	60		2	1~4	
		フランス語 III	30		1	1~4	
		フランス語 IV	30		1	1~4	
		フランス語 V	30		1	1~4	
		フランス語 VI	30		1	1~4	
	中国	中国語 I	60		2	1~	

語					4		
	中国語Ⅱ	60		2	1～4		
	中国語Ⅲ	30		1	1～4		
	中国語Ⅳ	30		1	1～4		
	中国語Ⅴ	30		1	1～4		
	中国語Ⅵ	30		1	1～4		
ロシア語	ロシア語Ⅰ	60		2	1～4		
	ロシア語Ⅱ	60		2	1～4		
	ロシア語Ⅲ	30		1	1～4		
	ロシア語Ⅳ	30		1	1～4		
	ロシア語Ⅴ	30		1	1～4		
	ロシア語Ⅵ	30		1	1～4		
スペイン語	スペイン語Ⅰ	60		2	1～4		
	スペイン語Ⅱ	60		2	1～4		
	スペイン語Ⅲ	30		1	1～4		
	スペイン語Ⅳ	30		1	1～4		
	スペイン語Ⅴ	30		1	1～4		
	スペイン語Ⅵ	30		1	1～4		
イタリア語	イタリア語Ⅰ	60		2	1～4		
	イタリア語Ⅱ	60		2	1～4		
	イタリア語Ⅲ	30		1	1～4		
	イタリア語Ⅳ	30		1	1～4		
	イタリア語Ⅴ	30		1	1～4		
	イタリア語Ⅵ	30		1	1～4		
韓国	韓国語Ⅰ	60		2	1～		

語					4		
	韓国語Ⅱ	60		2	1～4		
	韓国語Ⅲ	30		1	1～4		
	韓国語Ⅳ	30		1	1～4		
	韓国語Ⅴ	30		1	1～4		
	韓国語Ⅵ	30		1	1～4		
ポルトガル語	ポルトガル語Ⅰ	30		1	1～4		
	ポルトガル語Ⅱ	30		1	1～4		
	ポルトガル語Ⅲ	30		1	1～4		
	ポルトガル語Ⅳ	30		1	1～4		
アラビア語	アラビア語Ⅰ	30		1	1～4		
	アラビア語Ⅱ	30		1	1～4		
	アラビア語Ⅲ	30		1	1～4		
	アラビア語Ⅳ	30		1	1～4		
スワヒリ語	スワヒリ語Ⅰ	30		1	1～4		
	スワヒリ語Ⅱ	30		1	1～4		
	スワヒリ語Ⅲ	30		1	1～4		
	スワヒリ語Ⅳ	30		1	1～4		
タイ語	タイ語Ⅰ	30		1	1～4		
	タイ語Ⅱ	30		1	1～4		
	タイ語Ⅲ	30		1	1～4		
	タイ語Ⅳ	30		1	1～4		
トルコ語	トルコ語Ⅰ	30		1	1～4		
	トルコ語Ⅱ	30		1	1～4		
	トルコ語Ⅲ	30		1	1～4		

					4		
	トルコ語Ⅳ	30		1	1～4		
ブルガリア語	ブルガリア語Ⅰ	30		1	1～4		
	ブルガリア語Ⅱ	30		1	1～4		
	ブルガリア語Ⅲ	30		1	1～4		
	ブルガリア語Ⅳ	30		1	1～4		
インドネシア語	インドネシア語Ⅰ	30		1	1～4		
	インドネシア語Ⅱ	30		1	1～4		
	インドネシア語Ⅲ	30		1	1～4		
	インドネシア語Ⅳ	30		1	1～4		
ベトナム語	ベトナム語Ⅰ	30		1	1～4		
	ベトナム語Ⅱ	30		1	1～4		
	ベトナム語Ⅲ	30		1	1～4		
	ベトナム語Ⅳ	30		1	1～4		
その他	言語演習Ⅰ	30		1	1～4		
	言語演習Ⅱ	30		1	1～4		
	言語演習Ⅲ	30		1	1～4		
	言語演習Ⅳ	30		1	1～4		
日本語・日本文化科目（言語科目に含む）	日本語Ⅰ	60		2	1～4	※外国人留学生のみ履修可	
	日本語Ⅱ	60		2	1～4		
	日本語Ⅲ	30		1	1～4		
	日本語Ⅳ	30		1	1～4		
	日本語Ⅴ	30		1	1～4		
	日本語Ⅵ	30		1	1～4		
	日本語基礎	90		3	1～		

				4	
日本語総合入門	150		5	1～4	
日本語総合Ⅰ	150		5	1～4	
日本語総合Ⅱ	150		5	1～4	
日本語演習入門	30		1	1～4	
日本語演習Ⅰ	30		1	1～4	
日本語読解Ⅱ	30		1	1～4	
日本語読解ⅢA	30		1	1～4	
日本語読解ⅢB	30		1	1～4	
日本語読解ⅣA	30		1	1～4	
日本語読解ⅣB	30		1	1～4	
日本語読解ⅤA	30		1	1～4	
日本語読解ⅤB	30		1	1～4	
日本語文法Ⅱ	30		1	1～4	
日本語文法Ⅲ	30		1	1～4	
日本語文法Ⅳ	30		1	1～4	
日本語口頭表現入門	30		1	1～4	
日本語口頭表現Ⅰ	30		1	1～4	
日本語口頭表現ⅢA	30		1	1～4	
日本語口頭表現ⅢB	30		1	1～4	
日本語口頭表現ⅣA	30		1	1～4	
日本語口頭表現ⅣB	30		1	1～4	
日本語表現ⅤA	30		1	1～4	
日本語表現ⅤB	30		1	1～4	
日本語聴解入門	30		1	1～	

					4		
		日本語聴解Ⅰ	30		1	1～4	
		日本語聴解Ⅱ	30		1	1～4	
		日本語聴解ⅢA	30		1	1～4	
		日本語聴解ⅢB	30		1	1～4	
		日本語聴解ⅣA	30		1	1～4	
		日本語聴解ⅣB	30		1	1～4	
		日本語聴解ⅤA	30		1	1～4	
		日本語聴解ⅤB	30		1	1～4	
		日本語文章表現入門	30		1	1～4	
		日本語文章表現Ⅰ	30		1	1～4	
		日本語文章表現Ⅲ	30		1	1～4	
		日本語文章表現Ⅳ	30		1	1～4	
		初級漢字	30		1	1～4	
		日本伝統文化	30		2	1～4	外国人留學生のみ履修可。 但し卒業単位に含まれない 自由科目とする。
世界 市民 教育 科目	平和・ 人権・ 環境・ 開発 科目	平和学入門	30		2	1～4	○
		平和と人権	30		2	1～4	○
		ダイバーシティ&インクルージョン入門	30		2	1～4	
		ライフイベントとジェンダー	30		2	3～4	○
		環境と開発	30		2	1～4	○
		環境問題入門	30		2	1～4	○
		現代マスコミ論	30		2	1～4	○
		地域研究A	30		2	1～4	○
		地域研究B	30		2	1～4	○

	日本研究	30		2	1～4		
	世界市民教育演習 A	30		2	2～4		
	世界市民教育演習 B	30		2	2～4		
	グローバル社会と女性のエンパワーメント	30		2	1～4		
サー ビス ラー ニン グ・ リー ダー シッ プ科 目	留学のための国際理解	30		2	1～4		
	国際ボランティア実習	60		2	1～4		
	ボランティア実習 I	30		1	1～4		
	ボランティア実習 II	30		1	2～4		
	八王子学	30		2	1～4		
	総合科目特講	30		2	1～4		
	トップが語る現代経営 A	30		2	1～4	○	
	トップが語る現代経営 B	30		2	1～4	○	
	スマート・リーダーシップ I	30		2	1～2		
	スマート・リーダーシップ II	30		2	2～4		
	スマート・リーダーシップ III	30		2	2～4		
数 理・ デー タサ イエ ン ス・ 自然 科目	データサイエンス入門	30	2		1	○	
	A I 基礎	30		2	1		
	大学生のための情報・デジタルリテラシー	30		2	1		
	基礎数学 I	30		2	1～4		
	基礎数学 II	30		2	1～4		
	統計学入門 I	30		2	1～4		
	統計学入門 II	30		2	1～4		
	情報科学	30		2	1～4		
	生命科学	30		2	1～4		
	環境科学	30		2	1～4		

		プログラミング	30		2	1～4		
人文・社会科学・健康科目	人文科学系科目	音楽	30		2	1～4		
		美術	30		2	1～4		
		文学入門	30		2	1～4		
		哲学入門	30		2	1～4		
		倫理学入門	30		2	1～4		
		宗教学入門	30		2	1～4		
		歴史入門	30		2	1～4		
		言語学入門	30		2	1～4		
	社会科学系科目	法学入門	30		2	1～4		
		日本国憲法	30		2	1～4		
		ミクロ経済学入門	30		2	1～4		
		マクロ経済学入門	30		2	1～4		
		経営学入門	30		2	1～4		
		社会学入門	30		2	1～4		
国際関係論入門		30		2	1～4			
政治学入門		30		2	1～4			
心理学入門		30		2	1～4			
教養地理学		30		2	1～4			
教育学入門	30		2	1～4				
健康科学系科目	体育実技A	30		1	1～4			
	体育実技B	30		1	1～4			
	体育実技C	30		1	1～4			
	体育実技D	30		1	1～4			

		体育講義	30		2	1～ 4		
学際 系科 目		共通総合演習 A	30		2	1～ 4		
		共通総合演習 B	30		2	1～ 4		
キャリア 教育 系科 目		キャリアデザイン基礎	30		2	1・ 2		
		キャリア開発フォーラム	30		2	1・ 2		
		ワールドビジネスフォーラム	30		2	1・ 2		
		グローバル社会とキャリア演習	30		2	1～ 4		
		留学生のためのキャリアデザイン基礎（日本語）	30		2	1～ 4		
		留学生のためのキャリアデザイン基礎（英語）	30		2	1～ 4		
		留学生のためのキャリアコミュニケーション A	30		2	1～ 4		
		留学生のためのキャリアコミュニケーション B	30		2	1～ 4		
		次世代産業とキャリア演習	30		2	1～ 4		
		グローバル社会と次世代産業	30		2	2～ 4		
		公共キャリア演習 I	30		2	2～ 4		
		公共キャリア演習 II	30		2	2～ 4		
		企業研究	30		2	2～ 4		
		キャリアビジョン演習 A	30		2	2		
		キャリアビジョン演習 B	30		2	3・ 4		
		キャリアビジョン演習 C	30		2	3・ 4		
		キャリアビジョン演習 D	30		2	3・ 4		
		留学生のためのキャリアビジョン演習	30		2	3・ 4		
		公共キャリア演習 III	30		2	3・ 4		
		公共キャリア演習 IV	30		2	3・ 4		
	留学生のためのキャリアコミュニケーション C	30		2	3・ 4			
	留学生のためのキャリアコミ	30		2	3・			

		ユニケーションD			4		
		キャリアアトランジション演習	30		2	4	
		インターンシップ入門	30		2	1～ 4	
		インターンシップI	30		1	1～ 4	
		インターンシップII	30		1	1～ 4	
		インターンシップIII	60		2	1～ 4	
		インターンシップIV	60		2	1～ 4	
海外 研 修・ 実習 科目		海外短期研修（英語）I			2	1～ 4	
		海外短期研修（英語）II			2	1～ 4	
		海外短期研修（英語）III			2	1～ 4	
		海外短期研修（英語）IV			2	1～ 4	
		海外短期研修（英語）V			1	1～ 4	
		海外短期研修（英語）VI			1	1～ 4	
		海外短期研修（ドイツ語）I			2	1～ 4	
		海外短期研修（ドイツ語）II			2	1～ 4	
		海外短期研修（ドイツ語）III			1	1～ 4	
		海外短期研修（ドイツ語）IV			1	1～ 4	
		海外短期研修（フランス語） I			2	1～ 4	
		海外短期研修（フランス語） II			2	1～ 4	
		海外短期研修（フランス語） III			1	1～ 4	
		海外短期研修（フランス語） IV			1	1～ 4	
		海外短期研修（中国語）I			2	1～ 4	
		海外短期研修（中国語）II			2	1～ 4	
		海外短期研修（中国語）III			1	1～ 4	
		海外短期研修（中国語）IV			1	1～ 4	

海外短期研修（スペイン語） I			2	1～ 4		
海外短期研修（スペイン語） II			2	1～ 4		
海外短期研修（スペイン語） III			1	1～ 4		
海外短期研修（スペイン語） IV			1	1～ 4		
海外短期研修（イタリア語） I			2	1～ 4		
海外短期研修（イタリア語） II			2	1～ 4		
海外短期研修（イタリア語） III			1	1～ 4		
海外短期研修（イタリア語） IV			1	1～ 4		
海外短期研修（韓国語） I			2	1～ 4		
海外短期研修（韓国語） II			2	1～ 4		
海外短期研修（韓国語） III			1	1～ 4		
海外短期研修（韓国語） IV			1	1～ 4		
海外短期研修（ロシア語） I			2	1～ 4		
海外短期研修（ロシア語） II			2	1～ 4		
海外短期研修（ロシア語） III			1	1～ 4		
海外短期研修（ロシア語） IV			1	1～ 4		
海外短期研修（国際理解） I			2	1～ 4		
海外短期研修（国際理解） II			2	1～ 4		
海外短期研修（国際理解） III			2	1～ 4		
海外短期研修（国際理解） IV			2	1～ 4		
海外短期研修（国際理解） V			1	1～ 4		
海外短期研修（国際理解） VI			1	1～ 4		
海外インターンシップ I	60		2	1～ 4		
海外インターンシップ II	60		2	1～ 4		

	海外インターンシップⅢ	60		2	1～4		
	海外インターンシップⅣ	60		2	1～4		
	海外インターンシップⅤ	30		1	1～4		
	海外インターンシップⅥ	30		1	1～4		

同表に定めるほか、学生が他の大学において履修した連携開設科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第3

経済経営学部ビジネス学科専門科目

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	他学部履修	【コース(3コース)】	【モジュール(A群・B群)】	主要授業科目	備考	
			必修	選択							
										グローバルリーダー (グ)、 ビジネスデザイン (ビ)、 金融・財務(キ) の3コースの内、 選択した コース指 定科目か ら18単位 以上修得 すること。  また、コ ース連携 モジュー ル(A 群)から 10単位、 コース横 断モジュー ル(B	

										群) から 6 単位を 含んで修 得するこ と。
専門 必修 科目	経営学 I	30	2		1	×			○	18単位必 修
	基礎簿記 I	30	2		1	×			○	
	基礎簿記 II	30	2		1	×			○	
	ミクロ経済学初級	30	2		1	×			○	
	マクロ経済学初級	30	2		1					
	経済・経営のための 統計入門	30	2		2	×			○	
	演習 I	30	2		2	×			○	
	演習 II	30	2		3	×			○	
	演習 IV	30	2		4	×			○	
専門 選択 必修 科目	演習 III	30		2	3	×				6 単位以 上選択必 修。演習 IIIまたは 卒業論文 研究を含 むこと。
	卒業論文研究	—		4	4	×				
	ヒューマニスティッ ク・リーダーシップ WS II	30		2	1	×			○	
	ヒューマニスティッ ク・リーダーシップ WS III	30		2	2	×			○	
	人間主義経済論	30		2	2					
	人間主義経営論 I	15		1	1					
人間主義経営論 II	15		1	1						
専門 選択 科目	経営学 II	30		2	1		グ/ ビ			選択科目 46単位以 上
	I n t r o d u c t i o n t o G l o b a l B u s i n e s s L e a d	30		2	1	×	グ			
										基礎 科目

e r s h i p									
リーダーシップ論	30		2	2		グ/ ビ	A		
人的資源管理論	60		4	2		グ/ ビ	A		
経営戦略論	60		4	2		グ/ ビ	A		
経営管理論	60		4	1		ビ			
株式会社簿記	60		4	2		キ			
工業簿記 I	30		2	1		キ			
工業簿記 II	30		2	2		キ			
会計学	60		4	2		キ	A		
管理会計基礎	60		4	2		キ	A		
財務管理論 I	30		2	2		ビ/ キ	A		
財務管理論 II	30		2	2		ビ/ キ	A		
マーケティング	30		2	2		グ/ ビ	A		
流通論	30		2	2			A		
観光とビジネス	30		2	2		グ/ ビ			
経済・経営のための 統計学	30		2	2		グ/ ビ/ キ			
データサイエンス	30		2	2		グ	B		
データサイエンス演 習	30		2	2		ビ/ キ	B		
プログラミング論	60		4	2		グ/ ビ/ キ	B		

ビジネス情報論	60		4	2		ビ/ キ			
社会調査法	30		2	2		グ/ ビ/ キ			
経済数学入門	60		4	1			B		
ミクロ経済学中級Ⅰ	30		2	2			B		
ミクロ経済学中級Ⅱ	30		2	2			B		
マクロ経済学中級Ⅰ	30		2	2		グ/ キ	B		
マクロ経済学中級Ⅱ	30		2	2		グ/ キ	B		
行動経済学入門	30		2	2		グ/ ビ	A		
グローバル経済Ⅰ	30		2	2		グ/ ビ	A		
グローバル経済Ⅱ	30		2	2		グ/ ビ	A		
グローバル経済史	60		4	2		グ	A		
金融論	60		4	2		キ	A	○	
財政学	60		4	2			B		
開発と貧困の経済学	60		4	2		グ/ ビ/ キ	B		
気候変動の経済学	30		2	2		グ/ ビ/ キ	B		
ピア・リーダーシップⅠ	30		2	1・ 2	×				
ピア・リーダーシップⅡ	30		2	2・ 3	×				
サービス・ラーニング	30		1	2	×				

グ I													
サービス・ラーニング グ II	30		1	2	×								
サービス・ラーニング グ III	30		1	3	×								
ビジネスデザイン論	30		2	2		ビ	A						
ローカルビジネス論	30		2	2		ビ	B						
プロジェクト・マネジメント論	30		2	2		ビ	A						
経営組織論	60		4	3		グ/ ビ	A						
企業論	60		4	3		グ/ ビ	B						
日本経済経営史	60		4	2			B						
環境マネジメント	30		2	3		グ/ ビ	B						
企業経営とワークライフ バランス	30		2	3		グ/ ビ	B						
多国籍企業論	60		4	3		グ	A						
国際比較経営史	30		2	3		グ	A						
サステナビリティ経営 会計	30		2	2		キ	A						
企業価値管理会計	30		2	3		キ	A						
証券市場論	60		4	3		キ	A						
監査論	30		2	3		キ	A						
財務会計論	30		2	3		キ							
ビジネス戦略論演習	30		2	2		ビ	A						
消費者行動論	30		2	3		ビ	A						
サービス・マーケティング	30		2	3		ビ	A						

応用  
科目

マネジメント・サイ エンス	60		4	3		グ/ ビ/ キ			
ビジネス・シミュレ ーション	30		2	3			B		
ビジネス統計	30		2	3		グ/ ビ/ キ			
ビジネスプロジェクト演習	30		2	3		グ/ ビ/ キ	B		
ビジネスA I 演習	30		2	3		グ/ ビ/ キ	B		
統計学	60		4	3			B		
多変量解析	30		2	3					
数理統計学 I	30		2	3・ 4					
数理統計学 II	30		2	3・ 4					
国際開発協力論	30		2	3		グ	B		
人事経済学 I	30		2	2		グ/ ビ	A		
人事経済学 II	30		2	2		グ	A		
環境経済論	60		4	2		グ	B		
農業経済論 I	30		2	3		グ/ ビ	B		
農業経済論 II	30		2	3		グ	B		
アフリカ経済論	30		2	3		グ	B		
ヨーロッパ経済論	30		2	2		グ	B		
アジア経済・経営論	30		2	2		グ	B		

経済学史	60		4	2			B			
国際経済論	60		4	3		グ/ キ	A			
社会貢献と経済学	30		2	3			B			
経済数学	60		4	2			B			
資本市場と証券投資	30		2	2		キ				
ミクロ経済学上級	60		4	3・ 4						
マクロ経済学上級	60		4	3・ 4						
計量経済学上級	60		4	3・ 4						
オーナーズセミナーⅠ	30		2	1	×					
オーナーズセミナーⅡ	30		2	1	×					
オーナーズセミナーⅢ	30		2	2	×					
微積分学Ⅰ	30		2	1						
微積分学Ⅱ	30		2	1						
ビジネス&ロー・ワークショップⅠ	30		2	2						
ビジネス&ロー・ワークショップⅡ	30		2	2	×	キ				
ビジネス&ロー・ワークショップⅢ	30		2	3	×	キ				
会社法概論	30		2	3						
労働法	60		4	3						
民法総則	60		4	3						
環境法	60		4	3						
グローバルリーダー・ワークショップ	15		1	1			A			

応用  
科目  
HO  
PE  
生の  
み履  
修可

応用  
科目

I											
グローバルリーダー・ワークショップ	15		1	1			A				
II											
経済経営特論 I	30		2	1 ~ 4							
経済経営特論 II	30		2	1 ~ 4							
経済経営特論 III	30		2	1 ~ 4							
経済経営特論 IV	30		2	1 ~ 4							
Introduction to the Business Environment	30		2	1							
The Business Environment	60		4	2							
Global Business Communication	60		4	2							
International Context in Business	60		4	2			A				
Humanistic Management Workshop	30		2	2							
Multicultural Mana	30		2	3			A				

英語  
講義  
科目

g e m e n t										
S u s t a i n a b l e B u s i n e s s a n d M a n a g e m e n t	30		2	3			A			
C o n t e m p o r a r y E c o n o m y a n d B u s i n e s s I	30		2	1 ~ 4						
C o n t e m p o r a r y E c o n o m y a n d B u s i n e s s II	30		2	1 ~ 4						
C o n t e m p o r a r y E c o n o m y a n d B u s i n e s s III	30		2	1 ~ 4						
C o n t e m p o r a r y E c o n o m y a n d B u s i n e s s IV	30		2	1 ~ 4						
G l o b a l P r o g r a m M i s s i o n I	30		2	1 ~ 4	×					
G l o b a l P r o g r a m M i s s i o n II	30		2	1 ~ 4	×					
G l o b a l P r o g r a m M i s s i o n III	30		2	1 ~ 4	×					
G l o b a l P r o g r a m M i s s i o n IV	30		2	1 ~ 4	×					
G l o b a l P r o g r a m M i s	45		3	2 ~ 4	×					

	s i o n A										
	G l o b a l P r o g r a m M i s s i o n B	45		3	2 ~ 4	×					
	G l o b a l P r o g r a m M i s s i o n C	45		3	2 ~ 4	×					
	G l o b a l P r o g r a m M i s s i o n D	45		3	2 ~ 4	×					
学部 学科	A c a d e m i c W r i t i n g	60		2	1	×					学部学科 英語科目 (外国語 科目) も しくは全 学共通科 目の言語 科目(英 語) から 第1外国 語として 10単位以 上含める こと。又 は、学部 学科英語 科目(外 国語科 目) もし しくは全学 共通科目 の言語科 目(英 語) から 第1外国 語として 6単位以
英語 科目 (外国語 科目)	I n t r o d u c t i o n t o B u s i n e s s E n g l i s h	30		1	1	×					
	I n t r o d u c t i o n t o B u s i n e s s C o n v e r s a t i o n	30		1	1	×					
	S t u d y S k i l l s f o r B u s i n e s s	60		2	1	×					
	D i s c u s s i o n o n B u s i n e s s T o p i c s	30		1	1	×					
	P r e s e n t a t i o n o n B u s i n e s s T o p i c s	30		1	1	×					
	P r a c t i c a l E n g l i s h C o m p r e h e n s	30		1	2	×					

ion											上、全学
Practical English Writing	30		1	2	×						共通科目
TOEFL Preparation I	60		2	1	×						言語科目
TOEFL Preparation II	60		2	1	×						の英語以外から第
Introduction to the Business Environment Laboratory	60		2	1	×						2 外国語
The Business Environment Laboratory	60		2	2	×						として1
											カ国語4
											単位以上
											を含める
											こと。

別表第4

法学部法律政治学科専門科目

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	他学部履修	【コース】	主要授業科目	備考	
			必修	選択						
									リーガル（リ）、	
									市民生活・ビジネス法（市）、公共	
									政策・行政	
									（公）、環境サステナビリティ	
									（環）、国際平和・外交（国）、	
									アジア平和創造	
									（ア）の6コース	
									の内、選択したコ	
									ース指定科目から	

										16単位以上修得。 但し、国際平和・外交（国）コースは、▲印のAE科目を5単位以上含むこと。	
専門 科目	法学の基礎とSDGs	30		2	1	×		○		2単位必修	
	演習Ⅰ	30		2	2	×		○		演習Ⅰ 3科目6単位 2単位選択必修。3つの領域から各2単位以上修得。	
	Special Seminar for Global Issues I	30		2	2	×		○			
	演習Ⅱ	30		2	3・4	×		○			演習Ⅱ 2単位
	Special Seminar for Global Issues II	30		2	3・4	×		○			
	演習Ⅲ	30		2	3・4	×		○			演習Ⅲ 2単位
	Special Seminar for Global Issues III	30		2	3・4	×		○			
	憲法総論・統治機構論	60		4	1			○		学部基本 本科目 A群 はB群から 10単位選択 必修	
	民法総則	60		4	1			○			
	政治学入門：専門	30		2	1			○			
	刑法総論	60		4	1			○			
	憲法人権論	60		4	1			○			
国際政治学入門	30		2	1			○				
物権法	60		4	2			○				

公共政策論	30		2	2			○			
Global Issues	30		2	2		環／ 国▲				学部基本科目 B群
Peace Studies	30		2	2		環／ 国▲				
International Relations	30		2	2		国▲ ／ア				
International Environmental Policy	30		2	2		環／ 国▲				
Security Studies	30		2	2		国▲ ／ア				
Japanese Domestic Politics	30		2	2		国▲ ／ア				
Japanese Foreign and Security Policy	30		2	3		国▲ ／ア				
International Human Rights	60		4	3・ 4		国▲				
法学部生のための論理	30		2	1						
特殊講義Ⅰ	30		2	1						
特殊講義Ⅱ	30		2	1						
Academic Foundations Tutorial I	30		1	1	×	環／ 国				
Academic Foundations	30		1	1	×	環／				

ns Tutori al II						国		
AF for Pe ace・Human Rights & Sustainab ility I	60		2	1	×	環/ 国		
AF for Pe ace・Human Rights & Sustainab ility II	60		2	1	×	環/ 国▲		
Special T opics of Law and P olitics A	30		2	1				
Special T opics of Law and P olitics B	30		2	1				
地球共生・平和創造 インターンシップA	60		2	1	×	環/ 国		
公共政策インターン シップA	60		2	1	×	公		
テーマゼミ	30		2	1				
AF for St udy Abroa d I	30		1	1	×	環/ 国		
AF for St udy Abroa d II	30		1	1	×	環/ 国▲		
ファイナンシャルプ ランナー入門 I	30		2	1		市		
ファイナンシャルプ	30		2	1		市		

ランナー入門Ⅱ								
法学の基礎知識—理解と応用	30		2	1			○	
刑法各論	60		4	2		リ／市	○	
債権総論	60		4	2		リ／市	○	
親族・相続法	60		4	2		リ／市	○	
行政法総論	60		4	2		公／環	○	
行政救済法	60		4	2		公	○	
民法法務演習Ⅰ（総則・物権）	30		2	2	×	リ		
刑法法務演習Ⅰ（刑法総論）	30		2	2	×	リ		
刑法法務演習Ⅱ（刑法各論）	30		2	2	×	リ		
憲法人権論Ⅰ（アドバンスト）	30		2	2	×	リ		
憲法人権論Ⅱ（アドバンスト）	30		2	2	×	リ		
物権法（アドバンスト）	30		2	2	×	リ		
担保物権法（アドバンスト）	30		2	2	×	リ		
債権総論Ⅰ（アドバンスト）	30		2	2	×	リ		
債権総論Ⅱ（アドバンスト）	30		2	2	×	リ		
刑法各論Ⅰ（アドバンスト）	30		2	2	×	リ		

刑法各論Ⅱ（アドバ ンスト）	30		2	2	×	リ		
契約法（アドバンス ト）	30		2	2	×	リ		
法定債権（アドバン スト）	30		2	2	×	リ		
ビジネス&ロー・ワ ークショップⅠ	30		2	2		市		
会計と法Ⅰ	30		2	2		市		
会計と法Ⅱ	30		2	2		市		
商法	30		2	2		リ/ 市	○	
労働法	60		4	2		市/ 公	○	
データサイエンス実 習	30		2	2		市		
メディア演習Ⅰ	30		2	2		市		
メディア演習Ⅱ	30		2	2		市		
行政学	30		2	2		公/ 環	○	
公共経済論：法	60		4	2		公		
まちづくり八王子フ ィールドワーク	30		2	2		公		
政治学史	30		2	2		公/ 国	○	
政治学原論	60		4	2		公	○	
地方自治論	30		2	2		市/ 公	○	
公共政策ワークショ ップA	30		2	2	×	公		
社会分析スキル：デ	30		2	2		公/ 環		

ータサイエンス演習						国		
国際法総論	60		4	2		国	○	
国際法各論	60		4	2		国	○	
惑星政治学	30		2	2		環	○	
国際人権法	30		2	2		環/ 国	○	
国際関係史	30		2	2		国/ ア	○	
人間の安全保障論	30		2	2		国/ ア	○	
地球共生・平和創造 ワークショップ	30		2	2	×	環/ 国		
人間の安全保障ワー クショップ	30		2	2		環/ 国		
地球共生・平和創造 フィールドワーク	30		2	2	×	環/ 国		
平和学	30		2	2		環/ 国	○	
A s i a n S t u d i e s i n I n t e r n a t i o n a l L a w P e r s p e c t i v e s	30		2	2		国▲ /ア		
B o r d e r P o l i t i c s	30		2	2		国▲ /ア		
A m e r i c a n P o l i t i c s	30		2	2		国▲		
英米法	30		2	2				
法哲学	30		2	2				
法史学入門（西洋法 史）	30		2	2				

特殊講義Ⅲ	30		2	2				
特殊講義Ⅳ	30		2	2				
Special Topics of Law and Politics C	30		2	2				
Special Topics of Law and Politics D	30		2	2				
Peace・Human Rights & Sustainability Internship A	60		2	2	×	環／国		
Peace・Human Rights & Sustainability Internship B	60		2	2	×	環／国		
地球共生・平和創造インターンシップB	60		2	2	×	環／国		
公共政策インターンシップB	60		2	2	×	公		
地球共生・平和創造ボランティアA	60		2	2	×	環／国		
地球共生・平和創造ボランティアB	60		2	2	×	環／国		
アジア公共経営特論	30		2	2		ア		
アジア公共経営入門	30		2	2		ア		
アジア公共経営スタディツアー	30		2	2	×	ア		

債権各論	60		4	3・ 4		リ/ 市/ 環	○	
民事訴訟法	60		4	3・ 4		リ	○	
民事救済手続法	60		4	3・ 4		リ		
刑事訴訟法	60		4	3・ 4		リ	○	
憲法法務演習Ⅰ	30		2	3・ 4	×	リ		
憲法法務演習Ⅱ	30		2	3・ 4	×	リ		
民法法務演習Ⅱ（債権）	30		2	3・ 4	×	リ		
会社法（アドバンスト）	60		4	3・ 4	×	リ		
行政法総論（アドバンスト）	30		2	3・ 4	×	リ		
行政救済法（アドバンスト）	30		2	3・ 4	×	リ		
行政法法務演習	30		2	3・ 4	×	リ		
会社法法務演習	30		2	3・ 4	×	リ		
民事訴訟法法務演習	30		2	3・ 4	×	リ		
刑事訴訟法法務演習	30		2	3・ 4	×	リ		
会社法概論	30		2	3・ 4		リ/ 市	○	
社会保障法	60		4	3・ 4		市/ 公	○	

知的財産法	60		4	3・ 4		市		
租税法	60		4	3・ 4		市		
消費者法	30		2	3・ 4		市		
市民社会・ビジネス 法インターンシップ A	60		2	3・ 4	×	市		
市民社会・ビジネス 法インターンシップ B	60		2	3・ 4	×	市		
メディア演習Ⅲ	30		2	3・ 4		市		
メディア演習Ⅳ	30		2	3・ 4		市		
環境法	60		4	3・ 4		公/ 環	○	
地方政治論	30		2	3・ 4		公		
地域コミュニティ論	30		2	3・ 4		公		
社会保障政策論	30		2	3・ 4		公		
環境政治行政学	30		2	3・ 4		公/ 環		
アジア都市協力論	30		2	3・ 4		環/ ア		
東南アジア研究	30		2	3・ 4		ア		
公共政策チュートリ アル	30		2	3・ 4	×	公		
公共政策ワークショ	30		2	3・ 4	×	公		

ップB				4				
公共政策ボランティア	60		2	3・4		公		
国際私法総論	30		2	3・4		市	○	
国際私法各論	30		2	3・4		市		
国際機構論	30		2	3・4		国		
EU法	30		2	3・4		国		
日本政治外交史	30		2	3・4		国／ア	○	
地球市民社会論	30		2	3・4		国		
グローバル企業論	30		2	3・4		国／ア		
Global Public Policy	30		2	3・4		国▲／ア		
地球共生・平和創造 チュートリアル	30		2	3・4	×	環／国		
法思想史	30		2	3・4				
法社会学	30		2	3・4			○	
法史学（日本法史）	30		2	3・4		ア	○	
アジア法	30		2	3・4		ア		
日本政治思想史	30		2	3・4		公／ア		

Environmental Law	30		2	3・4		環		
水法演習	30		2	3・4		環		
刑事司法と医療・心理・福祉の連携	30		2	3・4		リ／公		
防災政策論	30		2	3・4		公		
特殊講義V	30		2	3・4				
特殊講義VI	30		2	3・4				
Special Topics of Law and Politics E	30		2	3・4				
Special Topics of Law and Politics F	30		2	3・4				
特殊講義VII	30		2	4				
特殊講義VIII	30		2	4				
演習IV	30		2	4	×			
卒業研究	—		2	4	×			
経営管理論	60		4	1		市		
人的資源管理論	60		4	2		市		
会計学	60		4	2		市		
証券市場論	60		4	3・4		市		
多国籍企業論	60		4	3・4		市		
企業論	60		4	3・		市		

				4				
ビジネス&ロー・ワークショップⅡ	30		2	2	×	市		
I n t e r n a t i o n a l C o n t e x t i n B u s i n e s s	60		4	2		市		
環境マネジメント	30		2	3・4		環		
ビジネス&ロー・ワークショップⅢ	30		2	3・4	×	市		
環境経済論	60		4	2		公／環		
国際開発協力論	30		2	3・4		環／国		
P r i n c i p l e s o f S o c i o l o g y	60		4	1				
P r i n c i p l e s o f E c o n o m i c s	60		4	1				
P r i n c i p l e s o f P o l i t i c s a n d G l o b a l i z a t i o n	60		4	1				
P r i n c i p l e s o f I n t e r n a t i o n a l R e l a t i o n s	60		4	1				
G l o b a l S o c i a l P o l i c y	60		4	2		環		
M o d e r n P o	60		4	2				

l i t t i c a l T h o u g h t								
G l o b a l E t h i c s	60		4	2				
C o n t e m p o r a r y P o l i t i c a l T h e o r y	60		4	2				
C i t i z e n s h i p a n d D e m o c r a c y i n a G l o b a l A g e	60		4	2				
G r e a t P o w e r P o l i t i c s i n t h e W o r l d	60		4	2				
I n t e r n a t i o n a l P o l i t i c a l E c o n o m y	60		4	2				
I n t e r n a t i o n a l I n s t i t u t i o n s a n d G l o b a l G o v e r n a n c e	60		4	2		環		
I n t e r n a t i o n a l R e l a t i o n s i n A s i a	60		4	2		ア		
C o m p a r a t i v e P o l i t i c s	60		4	2				
N o n p r o f i t O r g a n i z a t	60		4	2				

ions and Public Sector									
Development Economics	60		4	2					
International Business	60		4	2					
Marketing	60		4	2					
現代文化人類学	30		2	2		環			
司法・犯罪心理学	30		2	3・4	×	リ			
環境教育論	30		2	2		環			
GLPチュートリアルⅠ	30		1	1	×				グローバル・ロイヤーズ・プログラム科目（GLP生のみ履修可）
GLPチュートリアルⅡ	30		1	1	×				
GLPチュートリアルⅢ	30		1	2	×				
GLPチュートリアルⅣ	30		1	2	×				
GLPチュートリアルⅤ	30		1	3・4	×				
GLPチュートリアルⅥ	30		1	3・4	×				
GLPチュートリアルⅦ	30		1	3・4	×				
GLPチュートリアルⅧ	30		1	3・4	×				
GLPゼミⅠ	30		2	1	×				
GLPゼミⅡ	30		2	2	×				

	GLP インターンシップ A	60		2	1	×				
	GLP インターンシップ B	60		2	2	×				
学部 学科 英語 科目 (外国語 科目)	GLP English A	30		1	1	×				GLP 生のみ履修 可
	GLP English B	30		1	1	×				

別表第 5

文学部人間学科専門科目

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	他学部履修不可(×) / 他専修履修不可(※)	主要授業科目	備考
			必修	選択				
専門科目	人間学	30	2		1		○	必修科目 2 単位
	英語文化への招待	30		2	1		○	選択科目 4 単位以上 修得
	日本語・日本文化入門	30		2	1		○	
	社会・歴史・人類文化への招待	30		2	1		○	
	表現文化論入門	30		2	1		○	
	哲学・宗教学への招待	30		2	1		○	

	社会福祉入門	30		2	1		○	
ベー シッ ク科 目	文学部の学びとライフデ ザイン	15		1	1	×	○	選択必修科目1単位 以上修得
	ウェルビーイングと文学 部の学び	15		1	1	×	○	
	ウェルビーイング基礎演 習	15		1	1	×		選択科目26単位以上 修得
	ピア・サポート実践Ⅰ	30		2	1	×		
	ピア・サポート実践Ⅱ	30		2	1	×		
	多文化共生論	30		2	2			
	ピア・サポート実践Ⅲ a	15		1	2	×		
	ピア・サポート実践Ⅲ b	15		1	2	×		
	学部インターンシップ A	30		2	2	×		
	学部インターンシップ B	30		2	2	×		
	英語音声学	30		2	1			
	文学を通して学ぶ英語	30		2	1			
	C o m m u n i c a t i v e E n g l i s h I	30		2	1	×		
	C o m m u n i c a t i v e E n g l i s h II	30		2	1	×		
	E n g l i s h W r i t i n g	30		2	1			
	英語グローバルコミュニ ケーション	30		2	1			
	比較文化Ⅰ	30		2	1		○	
	比較文化Ⅱ	30		2	1		○	
	英語学概論	30		2	2		○	
	英米文学概論	30		2	2		○	

現代英文法	30		2	2		
アメリカ文学史	30		2	2		○
イギリス文学史	30		2	2		○
英米文学講読Ⅰ	30		2	2		
英米文学講読Ⅱ	30		2	2		
英語通訳演習A	30		2	2		
英語科教育法Ⅰ	30		2	2		
英語科教育法Ⅱ	30		2	2		
日本語学概論Ⅰ	30		2	1		○
日本語学概論Ⅱ	30		2	1		○
日本語教育概論Ⅰ	30		2	1		○
日本語教育概論Ⅱ	30		2	1		○
日本語コミュニケーション論	30		2	1		○
言語学概論	30		2	1		○
社会で通用する日本語	30		2	1		
日本古典文学概論	30		2	1		○
日本近代文学概論	30		2	1		○
第二言語としての日本語習得論	30		2	2		
対照言語学	30		2	2		
文化記号論	30		2	2		
日本語音声学	30		2	2		○
現代日本語文法A	30		2	2		
現代日本語文法B	30		2	2		
年少者日本語教育	30		2	2		○
多言語社会と言語政策	30		2	2		○
国語科教育法Ⅰ	30		2	2		

国語科教育法Ⅱ	30		2	2		
言語類型論	30		2	2		
日本文化体験	30		2	2		
文化人類学	30		2	1		○
国際関係論	30		2	1		○
社会学概論：人間	30		2	1		○
日本史概説Ⅰ：人間	30		2	1		
日本史概説Ⅱ：人間	30		2	1		
西洋史概説：人間	30		2	1		
東洋史概説：人間	30		2	1		
中国の社会と文化	30		2	1		
現代ロシア概論	30		2	1		
地理学Ⅰ：人間	30		2	1	×	
地理学Ⅱ：人間	30		2	1	×	
文化と権力の人類学	30		2	2		
現代文化人類学	30		2	2		
文化の社会学	30		2	2		
ジェンダーの社会学	30		2	2		○
宗教の社会学	30		2	2		
マンガの社会学	30		2	2		○
家族の社会学	30		2	2		
日本文化史	30		2	2		
歴史学概論	30		2	2		○
ロシアの歴史と文化	30		2	2		
民俗学	30		2	2		
地誌学：人間	30		2	2	×	
日本地誌	30		2	2		

法律学概論：人間	30		2	2	×	
政治学概論：人間	30		2	2	×	
社会科・地理歴史科教育 法 I	30		2	2		
社会科・公民科教育法 I	30		2	2		
世界遺産論初級	30		2	2		
文芸批評 I：詩の分析と 作詞法	30		2	1		○
文芸批評 II：小説・映画 の分析法	30		2	1		○
世界文学	30		2	1		
演劇入門	30		2	1		○
文芸創作 I	30		2	2		
文芸創作 II	30		2	2		
映画論	30		2	2		
演劇教育論	30		2	2		
中国文学	30		2	2		
ヨーロッパ文学	30		2	2		
日本文学史	30		2	2		
日本古典文学講読	30		2	2		
日本近代文学講読	30		2	2		
神話とフォークロア	30		2	2		
哲学概論	30		2	1		○
倫理学概論	30		2	2		○
仏教思想概論 I	30		2	1		
仏教思想概論 II	30		2	1		
西洋哲学史 I	30		2	1		
西洋哲学史 II	30		2	1		

	日本思想史Ⅰ	30		2	2			
	日本思想史Ⅱ	30		2	2			
	東洋思想史Ⅰ	30		2	1			
	東洋思想史Ⅱ	30		2	1			
	芸術哲学入門	30		2	2			
	論理学	30		2	2			
	社会理論と社会システム	30		2	1		○	
	心理学理論と心理的支援	30		2	1			
	社会福祉調査の基礎	30		2	1			
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	30		2	2			
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	30		2	2			
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	60		2	3・4			
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	60		2	3・4			
	児童福祉論Ⅰ	30		2	2			
	児童福祉論Ⅱ	30		2	2			
	障害者福祉Ⅰ	30		2	2			
	障害者福祉Ⅱ	30		2	2			
	高齢者福祉Ⅰ	30		2	2			
	高齢者福祉Ⅱ	30		2	2			
アド ヴァ ンス ト科 目	演習Ⅰ	30	2		3・4	×	○	12単位必修。
	演習Ⅱ	30	2		3・4	×	○	
	演習Ⅲ	30	2	2	4	×		
	演習Ⅳ	30	2		4	×	○	
	卒業研究Ⅰ	—	2		4	×	○	
	卒業研究Ⅱ	—	2		4	×	○	
	Special Se	30		2	3・4			

minar for Humanities A							位以上修得 (社会福祉専修専用科目含む)
Special Seminar for Humanities B	30		2	3・4			
卒業研究Ⅲ	30		2	4	×		
Special Lecture A	30		2	1			
Special Lecture B	30		2	1			
英語史と文化	30		2	2			
英語コミュニケーション論	30		2	2			
第二言語習得論	30		2	2			
英語と国際理解教育	30		2	2			
Cultural Representation I	30		2	2			
Cultural Representation II	30		2	2			
英語翻訳論	30		2	2			
英語通訳演習B	30		2	2			
日英翻訳演習	30		2	2			
Text Studies	30		2	2			
英米児童文学研究	30		2	3・4			
英語科教育実践演習Ⅰ	30		2	3・4			教職課程登録者のみ
英語科教育実践演習Ⅱ	30		2	3・4			

英語科教育法Ⅲ	30		2	3・4		
英語科教育法Ⅳ	30		2	3・4		
社会言語学	30		2	2		
日本語教材研究	30		2	2		
日本語教授法	30		2	2		
日本語教育実践	30		2	2		
日本語の語彙・表記	30		2	2		○
書道Ⅰ	30		2	2		
書道Ⅱ	30		2	2		
国語科教育法Ⅲ	30		2	3・4		
国語科教育法Ⅳ	30		2	3・4		
漢文学特講Ⅰ	30		2	3・4		
漢文学特講Ⅱ	30		2	3・4		
日本語学特講	30		2	3・4		
日本語教育実習	30		2	3・4		
海外日本語教育実習	60		4	3・4		
日本語教授法演習	30		2	3・4		
ディベート日本学	30		2	3・4		
サブカルチャーの社会学	30		2	2		○
現代宗教の社会学	30		2	2		
教育の社会学	30		2	3・4		○
平和学	30		2	2		○
歴史と地域社会	30		2	2		
歴史と人間	30		2	2		
パブリック・ヒストリー	30		2	2		
世界遺産論中級	30		2	2		
社会科・地理歴史科教	30		2	3・		

育法Ⅱ				4		
社会科・公民科教育法Ⅱ	30		2	3・4		
サーベイ調査演習	30		2	3・4		
フィールドワーク実習	30		2	3・4		
人文地理学：人間	30		2	2	×	
自然地理学：人間	30		2	2	×	
人間の安全保障	30		2	3・4		
歴史の社会学	30		2	3・4		
メディアの社会学	30		2	3・4		
人類学的研究	30		2	3・4		
中国近現代史	30		2	3・4		
ロシア近現代史	30		2	3・4		
古文書学	30		2	3・4		
日本中世・近世史研究	30		2	3・4		○
日本近現代史研究	30		2	3・4		○
外国地誌A	30		2	3・4		
外国地誌B	30		2	3・4		
ロシア文学	30		2	2		
演劇論	30		2	2		
L i t e r a t u r e I	30		2	2		
L i t e r a t u r e II	30		2	2		
日本古典文学作家作品論 A	30		2	2		
日本古典文学作家作品論	30		2	2		

B						
日本近代文学作家作品論 A	30		2	2		
日本近代文学作家作品論 B	30		2	2		
デザイン・アート演習 A	15		1	2	×	
デザイン・アート演習 B	15		1	2	×	
Kカルチャーと韓日文化 交流 I	15		1	3・4	×	
Kカルチャーと韓日文化 交流 II	15		1	3・4	×	
文芸創作演習	30		2	2	×	
演劇表現演習	30		2	2	×	
日本文学特講 A	30		2	2		
日本文学特講 B	30		2	3・4		
ダンスと身体表現	15		1	3・4	×	
映像表現演習	15		1	3・4	×	
作詞・作曲法演習	15		1	3・4	×	
表現文化実践演習 A	15		1	3・4	×	
表現文化実践演習 B	15		1	3・4	×	
表現文化実践演習 C	15		1	3・4	×	
P h i l o s o p h y I	30		2	2		
P h i l o s o p h y II	30		2	2		
宗教学	30		2	2		
美学美術史	30		2	2		
実践倫理学	30		2	2		
理論倫理学	30		2	2		

言語哲学	30		2	2		
心の哲学	30		2	2		
科学哲学	30		2	2		
Metaethics	30		2	2		
人間学外書講読Ⅰ（英語）	30		2	2		
人間学外書講読Ⅱ（英語）	30		2	2		
人間学外書講読Ⅰ（西洋古典語A）	30		2	2		
人間学外書講読Ⅱ（西洋古典語A）	30		2	2		
人間学外書講読Ⅰ（西洋古典語B）	30		2	2		
人間学外書講読Ⅱ（西洋古典語B）	30		2	2		
人間学外書講読Ⅰ（ドイツ語）	30		2	2		
人間学外書講読Ⅱ（ドイツ語）	30		2	2		
人間学外書講読Ⅰ（サンクリット語）	30		2	2		
人間学外書講読Ⅱ（サンクリット語）	30		2	2		
イスラーム文化論	30		2	3・4		
キリスト教文化史	30		2	3・4		
哲学・思想特講A	30		2	3・4		
哲学・思想特講B	30		2	3・4		
社会保障Ⅰ	30		2	2		
社会保障Ⅱ	30		2	2		

福祉サービスの組織と経営	30		2	3・4		
貧困に対する支援	30		2	2		
保健医療と福祉	30		2	3・4		
権利擁護を支える法制度	30		2	3・4		
人体の構造と機能及び疾病	30		2	2		
刑事司法と福祉	30		2	4		
グローバル経済史	60		4	2		
開発と貧困の経済学	60		4	2		
日本経済経営史	30		2	2		
国際比較経営史	30		2	3・4		
法学部生のための論理	30		2	1		
政治学史	30		2	2		
国際関係史	30		2	2		
法哲学	30		2	2		
法史学入門（西洋法史）	30		2	2		
地域コミュニティ論	30		2	3・4		
日本政治外交史	30		2	3・4		
法思想史	30		2	3・4		
法社会学	30		2	3・4		
法史学（日本法史）	30		2	3・4		
日本政治思想史	30		2	3・4		
教育哲学	60		3	2		
教育史A	30		2	2		
教育史B	30		2	2		

国際開発教育論	30		2	2		
国際理解教育論	30		2	2		
平和と教育	30		2	2		
比較・国際教育学	30		2	3・ 4		
人間教育の潮流	30		2	3・ 4		
P r i n c i p l e s o f P h i l o s o p h y	60		4	1		
P r i n c i p l e s o f H i s t o r y	60		4	1		
P r i n c i p l e s o f S o c i o l o g y	60		4	1		
P r i n c i p l e s o f S o c i a l A n t h r o p o l o g y	60		4	1		
H i s t o r y o f M o d e r n i z a t i o n a n d E m p i r e	60		4	2		
M o n a r c h y a n d D e m o c r a c y i n M o d e r n H i s t o r y	60		4	2		
G l o b a l E t h i c s	60		4	2		
G l o b a l i z a t i o n a n d S o c i e t y	60		4	2		
S o c i o l o g y o f M e d i a a	60		4	2		

	nd Communica tion					
	Anthropolo gical Appr oaches to Contempora ry Japan	60		4	2	
	Anthropolo gy of Reli gion and P olitics	60		4	2	
	Feminist P erspectiv es	30		2	2	
	Race and D ecolonisa tion	30		2	2	
	Gender Stu dies	30		2	2	
	Educational and Intern ational De velopment	60		4	2	
	Citizenshi p and Demo cracy in a Global Age	60		4	2	
	Comparative Politics	60		4	2	
	Nonprofit O rganizatio ns and Publi c Sector	60		4	2	
	論理と集合	30		2	1	

	ソーシャルワーク演習	30		2	2	×		社会福祉専修専用科目（社会福祉専修所属の学生のみ履修可）
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	30		2	2	×		
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ	30		2	3・4	×		
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	30		2	3・4	×		
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ	30		2	4	×		
	ソーシャルワークの基盤と専門職	30		2	2	×		
	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	30		2	2	×		
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	30		2	2	×		
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	30		2	2	×		
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	30		2	3・4	×		
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ	30		2	3・4	×		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	30		2	2	×		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	30		2	3・4	×		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	30		2	4	×		
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	60		2	3・4	×		
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	180		4	3・4	×		

別表第6

教育学部心理・教育学科専門科目

科目	授	必修・選択	他学	主要
----	---	-------	----	----

別	授業科目	業 時 間	及び単位数		年次	部履 修不 可 (×) ／ 他学 科履 修不 可 (※)	授業 科目	備考
			必修	選択				
専門 科目	教育原論	60	4		1	※	○	5科目14単位必 修
	心理学概論	60	4		1	※	○	
	演習Ⅰ	30	2		3・4	※		
	演習Ⅱ	30	2		3・4	※		
	演習Ⅲ	30	2		4	※		
	教職概論	30		2	1	※	○	18単位以上選択 必修
	教育・学校心理学	30		2	1	※	○	
	臨床心理学概論	30		2	1	※	○	
	学校研究	30		2	2			
	発達心理学	30		2	2	※	○	
	教育哲学	30		2	2		○	
	教育社会学	30		2	2		○	
	国際開発教育論	30		2	2	×		
	国際理解教育論	30		2	2	×		
	平和と教育	30		2	2	×		
	カリキュラム論	30		2	3・4	※	○	
	教育方法学	30		2	3・4	×	○	
	人間教育の潮流	30		2	3・4	×		
比較・国際教育学	30		2	3・4	×			

教育相談	30		2	3・4	※	○	46単位以上選択 (公認心理士養成課程科目含む)
卒業研究Ⅰ	—		2	3・4	※		
演習Ⅳ	30		2	4	※		
卒業研究Ⅱ	—		2	4	※		
スタディー・リーダー基礎	30		2	1	※		
公認心理師の職責	30		2	1	※	○	
心理学研究法	30		2	1	※	○	
健康・医療心理学	30		2	1	※	○	
生涯学習概論	30		2	1		○	
社会教育概論	30		2	1			
ICT活用教育の理論と方法	15		1	1	※	○	
特別支援教育概論	30		2	1			
教育史A	30		2	2			
教育史B	30		2	2			
心理学統計法	30		2	2	※	○	
心理学実験	30		2	2	※		
知覚・認知心理学	30		2	2	※	○	
学習・言語心理学	30		2	2	※	○	
神経・生理心理学	30		2	2	※	○	
関係行政論	30		2	2	※		
海外教育事情	45		3	2	※		
海外教育研修	45		3	2	※		
学校体験活動Ⅰ(中)	60		2	2	×		
学校体験活動Ⅱ(中)	60		2	2	×		
学校体験活動Ⅲ(中)	30		1	2	×		
学校体験活動Ⅳ(中)	30		1	2	×		

生徒・進路指導論	30		2	2	※		
特別活動論	15		1	2	※	○	
生涯学習支援論Ⅰ	30		2	2			社会教育主事 課程登録者の み履修可
生涯学習支援論Ⅱ	30		2	2			
社会教育特講A	30		2	2			
知的障害教育論Ⅰ	30		2	2	※		
視覚障害・聴覚障害者の心理・生理・病理	30		2	2	※		
視覚・聴覚障害教育論	30		2	2	※		
地理学Ⅰ：教育	30		2	2	×		
地理学Ⅱ：教育	30		2	2	×		
地誌学：教育	30		2	2	×		
人文地理学：教育	30		2	2	×		
自然地理学：教育	30		2	2	×		
宗教学概論：教育	30		2	2	×		
哲学概論：教育	30		2	2	×		
倫理学概論：教育	30		2	2	×		
社会学概論：教育	30		2	2	×		
法学概論：教育	30		2	2	×		
政治学概論：教育	30		2	2	×		
日本史概説Ⅰ	30		2	2	×		
日本史概説Ⅱ	30		2	2	×		
西洋史概説	30		2	2	×		
東洋史概説	30		2	2	×		
教育学特講A	30		2	3・4	※		
教育学特講B	30		2	3・4	※		
心理学特講A	30		2	3・4	×		

心理学特講 B	30		2	3・4	×		
感情・人格心理学	30		2	3・4	※	○	
社会・集団・家族心理学	30		2	3・4	※	○	
障害者・障害児心理学	30		2	3・4	※	○	
司法・犯罪心理学	30		2	3・4	※	○	
精神疾患とその治療	30		2	3・4	※	○	
心理学実験演習 A	30		2	3・4	※		
心理学実験演習 B	30		2	3・4	※		
教育行財政学	30		2	3・4	※	○	
特別のニーズ教育の基礎と方法	15		1	3・4	※	○	
道徳教育論	30		2	3・4	×	○	
総合的な学習の時間の指導論	15		1	3	※	○	
特別活動演習	15		1	3・4	×	○	
教育の方法と技術	30		2	3・4	※	○	
環境教育論	30		2	3・4			
知的障害者の心理・生理・病理	30		2	3・4	※		
発達障害者の心理・生理・病理	30		2	3・4	※		
教育実習事前指導 (中・高)	30		1	3・4	×	○	
教育実習 I (中・高)	60		2	3・4	×		
教育実習 II (中)	60		2	3・4	×		
社会教育特講 B	30		2	3・4			社会教育主事 課程登録者のみ履修可
社会教育演習 I	30		2	3・4			
社会教育演習 II	15		1	3・4			

社会教育経営論Ⅰ	30		2	3・4				
社会教育経営論Ⅱ	30		2	3・4				
社会教育実習	30		1	3・4				
リーダーシップ教育論	30		2	3・4	※			
児童福祉論	30		2	3・4	※			
産業・組織心理学	30		2	3・4	※	○		
心理学的支援法	30		2	4	※	○		
知的障害者の心理特論	30		2	4	※			
教職実践演習	30		2	4	※	○		
人体の構造と機能及び 疾病	30		2	2	※			公認心理士養成 課程科目 (公認心理師 養成課程登録 者のみ履修 可)
福祉心理学	30		2	3・4	※	○		
心理的アセスメント	30		2	3・4	※	○		
心理演習	30		2	4	※	○		
心理実習Ⅰ	40		1	4	※	○		
心理実習Ⅱ	40		1	4	※	○		

別表第7

教育学部児童教育学科専門科目

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	他学部履修不可(×) /他学科履修不可(※)	主要授業科目	備考
			必修	選択				
専門科目	教育原論	60	4		1	※	○	5科目14単位必修
	心理学概論	60	4		1	※	○	
	演習Ⅰ	30	2		3・4	※		
	演習Ⅱ	30	2		3・4	※		
	演習Ⅲ	30	2		4	※		

教職概論	30		2	1	※	○	14単位以上選択 必修
特別支援教育概論	30		2	1	×	○	
学校研究	30		2	2	×		
カリキュラム論	30		2	2	※	○	
教育・学校心理学	30		2	2	※	○	
発達心理学	30		2	2	※		
授業技術	30		2	3・4	×		
教育行財政学	30		2	3・4	※	○	
教育の方法と技術	30		2	3・4	※	○	
授業改善のためのデータ活用	30		2	3・4	×		
卒業研究Ⅰ	—		2	3・4	※		
演習Ⅳ	30		2	4	※		
卒業研究Ⅱ	—		2	4	※		
スタディー・リーダー基礎	30		2	1	※		50単位以上選択 (特別支援免許課程科目含む) (なお、教科群A・C・E群から計12
I C T活用教育の理論と方法	15		1	1	※		
授業の観察と分析	15		1	1	×		
保育原理	15		1	1	×		
保育内容総論	15		1	1	×		
幼児と健康	30		2	1	×		
幼児と人間関係	30		2	1	×		
幼児と環境	30		2	1	×	○	
幼児と言葉	30		2	1	×	○	
幼児と表現	30		2	1	×		
海外教育事情	45		3	1	※		
海外教育研修	45		3	1	※		
学校体験活動Ⅰ(幼・小)	60		2	2	×		

学校体験活動Ⅱ（幼・小）	60		2	2	×		単位以上、B・D群から計6単位以上、合計18単位以上を含むこと)
学校体験活動Ⅲ（幼・小）	30		1	2	×		
学校体験活動Ⅳ（幼・小）	30		1	2	×		
国語科教育法	30		2	2		○	
社会科教育法	30		2	2		○	
算数科教育法	30		2	2		○	
理科教育法	30		2	2		○	
音楽科教育法	15		1	2		○	
英語科教育法	30		2	2		○	
図工科教育法	15		1	2		○	
体育科教育法	15		1	2		○	
幼児教育課程論	30		2	2	×	○	
幼児教育方法論	30		2	2	×	○	
保育内容（健康）の指導法	30		2	2	×		
保育内容（人間関係）の指導法	30		2	2	×		
保育内容（環境）の指導法	30		2	2	×	○	
保育内容（言葉）の指導法	30		2	2	×		
保育内容（表現）の指導法	30		2	2	×	○	
幼児理解の理論と方法	30		2	2	×		
生徒・進路指導論	30		2	2	※	○	
特別活動論	15		1	2	※	○	
教育とキャリア	30		2	2	※		
発達障害者教育論	30		2	2	×		
道徳教育論	30		2	2	×	○	
ピアノ基礎	15		1	2	×		
ピアノ応用	15		1	2	×		

保育内容総合演習	30		2	2	×	
生活科教育法	15		1	3・4		○
家庭科教育法	15		1	3・4		○
特別のニーズ教育の基礎と方法	15		1	3・4	※	○
教育相談	30		2	3・4	※	○
総合的な学習の時間の指導論	15		1	3・4	※	○
特別活動演習	15		1	3・4	※	○
ピアノの弾き歌い	15		1	3・4	×	
幼児と自然体験	30		2	3・4	×	
幼児とコミュニケーション	30		2	3・4	×	
幼児と環境構成	30		2	3・4	×	
幼児と音楽	30		2	3・4	×	
幼児と造形	30		2	3・4	×	
幼児と弾き歌い	15		1	3・4	×	
保育者論Ⅰ	15		1	3・4	×	
保育者論Ⅱ	15		1	3・4	×	
幼小架け橋論	15		1	3・4	×	
障害児保育支援	15		1	3・4	×	
ミュージアム・エデュケーションⅠ	30		2	3・4	×	
ミュージアム・エデュケーションⅡ	30		2	3・4	×	
教育学特講A	30		2	3・4	※	
教育学特講B	30		2	3・4	※	
教育実習事前指導（幼・小）	30		1	3・4	×	○
教育実習Ⅰ（幼・小）	60		2	3・4	×	○

教育実習Ⅱ（幼・小）	60		2	3・4	×	○	
教職実践演習	30		2	4	※	○	
国語科内容論	30		2	1	×		教科A群
国語科教材研究	30		2	3・4	×		
国語科教育実践演習Ⅰ	15		1	3・4	×		
国語科教育実践演習Ⅱ	15		1	3・4	×		
算数科内容論	30		2	1	×		教科B群
算数科内容研究	30		2	3・4	×		
算数科教育実践演習Ⅰ	15		1	3・4	×		
算数科教育実践演習Ⅱ	15		1	3・4	×		
社会科内容論	30		2	1	×		教科C群
社会科教育実践演習Ⅰ	15		1	3・4	×		
社会科教育実践演習Ⅱ	15		1	3・4	×		
理科内容論	30		2	1	×		教科D群
理科教育実践演習Ⅰ	15		1	3・4	×		
理科教育実践演習Ⅱ	15		1	3・4	×		
英語科内容論	30		2	2	×		教科E群
英語科教育実践演習Ⅰ	15		1	3・4	×		
英語科教育実践演習Ⅱ	15		1	3・4	×		
家庭科内容論	15		1	3・4	×		教科F群
生活科内容論	15		1	3・4	×		教科G群
音楽科内容論	15		1	1	×		教科H群
音楽科教育実践演習	15		1	3・4	×		
図工科内容論	15		1	1	×		教科I群
図工科教育実践演習	15		1	3・4	×		
体育科内容論	15		1	1	×		教科J群
体育科教育実践演習	15		1	3・4	×		

知的障害教育論 I	30		2	2	×	○	特別支援免許課程科目（特別支援免許課程登録者のみ履修可）
視覚障害・聴覚障害者の心理・生理・病理	30		2	2	×	○	
視覚・聴覚障害教育論	30		2	3・4	×	○	
知的障害者の心理・生理・病理	30		2	3・4	×	○	
知的障害教育論 II	30		2	3・4	×	○	
肢体不自由教育論	30		2	3・4	×	○	
病弱教育論	30		2	3・4	×	○	
肢体不自由者の心理・生理・病理	30		2	3・4	×	○	
病弱者の心理・生理・病理	30		2	3・4	×	○	
発達障害者の心理・生理・病理	30		2	3・4	×	○	
知的障害者の心理特論	30		2	4	×	○	
教育実習（特別支援）	90		3	4	×	○	

別表第 8

理工学部情報システム工学科専門科目

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	他学部履修不可 (×) /他学科履修不可 (※)	主要授業科目	備考
			必修	選択				
専門科目	プロジェクト・スタディーズ	30	2		1	※	○	7科目14単位必修
	プログラミング演習 I	30	2		1	※	○	
	情報システム総論	30	2		1	※	○	
	ケーススタディ I	30	2		3	※	○	

ケーススタディⅡ	30	2		3	※	○		
演習Ⅰ	30	2		4	※	○		
演習Ⅱ	30	2		4	※	○		
初級微積分学	30		2	1	※	○	微積分学2 単位	8単位 以上選 択必修
微積分学Ⅰ	30		2	1		○		
初級線型代数学	30		2	1	※	○	線型代数学 2単位	(4つ の科目 群から
線型代数学Ⅰ	30		2	1		○		
初級数学演習	30		2	1	※	○	数学演習2 単位	各2単 位以上 修得す ること
数学演習Ⅰ	30		2	1		○		
情報工学実験	60		2	2	※	○	実験科目2 単位	
電子工学実験	60		2	2	※	○		
数理科学実験	60		2	3	※	○		
ネットワーク実験	60		2	3	※	○		
物理学A(基礎力学)	30		2	1				48単位 以上選 択
情報社会論	30		2	1		○		
微積分学Ⅱ	30		2	1		○		
線型代数学Ⅱ	30		2	1		○		
数学演習Ⅱ	30		2	1		○		
物理学B(基礎電磁気学)	30		2	1				
プログラミング演習Ⅱ	30		2	1	※	○		
電子工学概論	30		2	1	※			
論理と集合	30		2	1				
国際情報技術交流史	30		2	1	※			
国際技術協力演習	30		2	2	※			
確率統計	30		2	2				

解析学概論	30		2	2			
数値解析	30		2	2			
データ構造	30		2	2		○	
ソフトウェア演習 A	30		2	2	※	○	
情報計測工学	30		2	2	※		
微分方程式	30		2	2	※		
幾何学概論	30		2	2	※		
光エレクトロニクス	30		2	2	※		
ソフトウェア演習 B	30		2	2	※	○	
デジタル回路基礎論	30		2	2			
制御工学	30		2	2	※		
計算機アーキテクチャ	30		2	2	※		
オペレーティングシステム	30		2	2		○	
代数学概論	30		2	2			
位相数学	30		2	2	※		
オペレーションズリサーチ	30		2	2			
情報理論	30		2	2			
国際情報英書講読	30		2	2	※		
データプロセッシング	30		2	2			
Topics in Science and Engineering	30		2	2	※		
国際技術協力論	30		2	2			
国際技術協力海外研修	30		2	2	※		
数学科教育法 I	30		2	2	※		
数学科教育法 II	30		2	2	※		

情報科教育法Ⅰ	30		2	2	※		
情報科教育法Ⅱ	30		2	2	※		
教育実習Ⅱ（中）	30		2	3	※		
現代数学概説	30		2	3			
ソフトウェア工学	30		2	3		○	
コンピュータネットワーク論	30		2	3		○	
シミュレーション論	30		2	3			
データベース論	30		2	3		○	
人工知能	30		2	3		○	
暗号理論	30		2	3			
情報セキュリティ論	30		2	3		○	
データサイエンス演習 （情報）	30		2	3	×	○	
ソフトウェア演習C	30		2	3	※	○	
ソフトウェア演習D	30		2	3	※	○	
信号理論	30		2	3			
マルチメディア論	30		2	3			
知的財産法概論	30		2	3			
マルチメディア演習	30		2	3	※		
システムバイオロジー	30		2	3			
特別講義	30		2	3	※		
A c a d e m i c E n g l i s h f o r S c i e n c e a n d E n g i n e e r i n g	30		2	3	※		
数学科教育法Ⅲ	30		2	3	※		
数学科教育法Ⅳ	30		2	3	※		
情報と職業	30		2	3	×		

	数理統計学 I	30		2	3			
	数理統計学 II	30		2	3			
	多変量解析	30		2	3			
	ビジネスプロジェクト演習	30		2	3			
	ビジネスA I 演習	30		2	3			
	アドバンストプロジェクト・スタディーズ	—		2	2	※		
	卒業研究 I	—		4	4	※		
	卒業研究 II	—		4	4	※		
学部学 科英語 科目 (外国 語科 目)	English Communication for Science I	60		2	1	※	○	
	English Communication for Science II	60		2	1	※	○	
	English for Information Technologies I	30		1	2	※	○	
	English for Information Technologies II	30		1	2	※	○	
	English for International Technical Cooperation I	30		1	2	※		
	English for International Technical	30		1	2	※		

l C o o p e r a t i o n II							
-------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

別表第9

理工学部生命理工学科専門科目

科目区分	授業科目	授業時間	必修・選択 及び単位数		年次	他学部 履修不可 (×) /他学部 履修不可 (※)	主要 授業科目	備考	
			必修	選択					
専門基礎科目 15単位	基礎科学実験	30	1		1	※	○		
	化学A	30	2		1		○		
	生物学A	30	2		1		○		
	初等微積分学	30	2		1	※	○		
	生命理工学プロジェクト	30	2		1	※	○		
	先端医理工連携概論	30	2		1		○		
	Pythonプログラミング演習	30	2		2	※	○		
	データサイエンス演習	30	2		2	※	○		
	選択科目 20単位以上 (A群6単位)	物理学A (基礎力学)	30		2	1		○	A群6単位修得すること
		物理学B (基礎電磁気学)	30		2	1		○	
		化学B	30		2	1		○	
		生物学B	30		2	1		○	
		化学実験	60		2	1	※	○	B群4単位修得すること
		物理学実験	60		2	2	※	○	
		生物学実験	60		2	2	※	○	
初等数学		30		2	1	※			
基礎物理学	30		2	1	×				

位 ・ B 群 4 単 位 を 含 む こ と )		基礎化学	30		2	1	※		
		基礎生物学	30		2	1	×		
		線型数理	30		2	1	※	○	
		基礎統計学	30		2	2			
		自然科学史	30		2	2			
		情報基礎論	30		2	2			
		微分方程式	30		2	2	※		
		アドバンスプログラミング演習	30		2	2	※		
		科学技術論	30		2	2			
		理科教育法Ⅰ	30		2	2	※		教職課程登録者のみ履修可
		理科教育法Ⅱ	30		2	2	※		
専 門 応 用 科 目 21 単 位	必 修	細胞生物学	30	2		2		○	
		分子生物学	30	2		2		○	
		生化学	30	2		2		○	
		病原微生物学	30	2		2		○	
		微生物学実験A	30	1		2	※	○	
		分子生物学実験	60	2		3・4	※	○	
		生化学実験	60	2		3・4	※	○	
		生命理工学トピックス	15	1		3	※	○	
		生命理工学ケーススタディ	15	1		3	※	○	
		生命理工学演習Ⅰ	30	2		3	※	○	
		生命理工学演習Ⅱ	30	2		4	※	○	
		生命理工学演習Ⅲ	30	2		4	※	○	
	選 択 必 修		ニューロサイエンス	30		2	2		
		代謝生化学	30		2	2			
		微生物学実験B	30		1	2	※		

科目 14 単 位 以 上	発生生物学	30		2	3・4			
	バイオテクノロジー	30		2	3・4			
	バイオインフォマティクス演習	30		2	3・4	※		
	糖鎖生命システム学	30		2	3・4		○	
	生物物理化学実験	60		2	3・4	※		
	免疫科学	30		2	3・4			
	機器分析学	30		2	3・4			
	電子工学概論	30		2	2			応用物理・電子工 学科目
	光エレクトロニクス	30		2	2			
	デジタル回路基礎論	30		2	2			
	電子工学実験	60		2	2	※		
	情報計測工学	30		2	2			
	統計熱力学	30		2	3・4			
	マルチメディア論	30		2	3・4			
選 択	計算機アーキテクチャ	30		2	3・4			
	情報工学実験	60		2	3・4	※		
	信号理論	30		2	3・4			
	制御工学	30		2	3・4			
	有機化学	30		2	2			化学・応用化学科 目
	物理化学	30		2	2			
	分析化学	30		2	3・4			
	食品工学	30		2	3・4			
	無機化学	30		2	3・4			
	粉体工学概論	30		2	3・4			
地球科学概論	30		2	1			生態科学・地球科 学・数理統計科目	
生態学	30		2	2				

科目 10 単 位 以 上	植物生理生態学	30		2	2			
	地球化学	30		2	3・4			
	土壌学	30		2	3・4			
	数理統計学Ⅰ	30		2	3・4			
	数理統計学Ⅱ	30		2	3・4			
	多変量解析	30		2	3・4			
	地球科学実験	60		2	3・4	※		
	海洋学実習	60		2	3・4	※		
	プロジェクト・スタディーズ	30		2	1	×		国際技術協力科目
	国際情報技術交流史	30		2	1	※		
	国際技術協力論	30		2	2			
	国際情報英書講読	30		2	2	※		
	国際技術協力演習	30		2	2	※		
	Topics in Science and Engineering	30		2	2	※		
	Academic English for Science and Engineering	30		2	3・4	※		
	国際技術協力海外研修	30		2	3・4	※		
	理科教職演習Ⅰ	30		2	1	※		キャリア・教職 関連科目
	生命理工学インターンシップ	60		2	2	※		
	R&Dキャリアセミナー	15		1	3・4			
	理科教職演習Ⅱ	30		2	3・4	※		教職課程 登録者の み履修可
理科教育法Ⅲ	30		2	3・4	※			
理科教育法Ⅳ	30		2	3・4	※			

		卒業研究 I	—		5	4	※	○	卒業研究科目
		卒業研究 II	—		5	4	※	○	
学部学 科英語 科目 (外国 語科 目)		English Communication for Science I	60		2	1	※	○	
		English Communication for Science II	60		2	1	※	○	
		English for Science and Engineering I	30		1	2	※	○	
		English for Science and Engineering II	30		1	2	※	○	
		English for International Technical Cooperation I	30		1	2	※		国際EP登録者のみ履修可
		English for International Technical Cooperation II	30		1	2	※		

別表第10

理工学部グリーンテクノロジー学科専門科目

科目区分	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	他学部履修不可(×) / 他学科履修	主要授業科目	備考
			必修	選択				

					不可 (※)			
グリーンテクノロジーコア専門科目	グリーンテクノロジー概論	15	1		1		○	19単位必修
	基礎グリーンテクノロジー実習	30	1		1		○	
	地球科学概論	30	2		1		○	
	グリーンテクノロジー研究体験A	15	1		1		○	
	グリーンテクノロジー研究体験B	15	1		1		○	
	グリーンテクノロジー研究トピックス	15	1		2		○	
	Pythonプログラミング演習	30	2		2	※		
	データサイエンス演習	30	2		2			
	演習Ⅰ	30	2		3・4	※	○	
	演習Ⅱ	30	2		3・4	※	○	
	卒業演習Ⅰ	30	2		4	※	○	
	卒業演習Ⅱ	30	2		4	※	○	
グリーンテクノロジー研究体験C	グリーンテクノロジー研究体験C	15		1	2		○	選択科目16単位以上
	グリーンテクノロジー研究体験D	15		1	2		○	
	グリーンテクノロジー研究体験E	15		1	2		○	
	グリーンテクノロジーとキャリア	30		2	2			
	初等数学	30		2	1	※		
	基礎化学	30		2	1	※		
	Foundation	30		2	1			

	s o f C h e m i s t r y						
	基礎生物学	30		2	1		
	F o u n d a t i o n s o f B i o l o g y	30		2	1		
	化学実験	60		2	1		
	F o u n d a t i o n s o f D a t a S c i e n c e	60		4	1		
	プロジェクト・スタデ ィーズ	30		2	1		
	国際ビジネス入門	30		2	1		
	情報基礎論	30		2	2		○
	T o p i c s i n S c i e n c e a n d E n g i n e e r i n g	30		2	2	※	
	熱力学	30		2	2		
	A c a d e m i c E n g l i s h f o r S c i e n c e a n d E n g i n e e r i n g	30		2	3・4	※	
	マテリアルサイエンス	30		2	3・4		
	機器分析学	30		2	3・4		
	粉体工学概論	30		2	3・4		
	卒業研究 I	—		5	4		○
	卒業研究 II	—		5	4		○
グリー ンテク	気候変動科学論	30		2	2		○
	生態学	30		2	2		
							地球環境理工学科目群 5 単位以上

ノロジ ー応用 専門選 択科目 44単位 以上 (4領 域から 各5単 位以上 計20単 位以上 含むこ と)	環境管理システム実験	30		1	2			
	植物生理学概論	30		2	2			
	地球生態系モニタリング	30		2	2			
	地球観測技術	30		2	3・4			○
	地球化学	30		2	3・4			
	土壌科学	30		2	3・4			○
	地球科学実験	60		2	3・4	※		○
	海洋観測実習	60		2	3・4	※		
	環境分析化学実験	30		1	3・4			○
	環境微生物学	30		2	2			○
	グリーンケミストリー 入門	30		2	2			○
	基礎微生物学実験	30		1	2			
	環境微生物学実験	30		1	2			
	生態環境工学	30		2	3・4			
	水処理工学実験	30		1	3・4			○
	プランクトン工学	15		1	3・4			○
	プランクトン工学実験	30		1	3・4			
	廃棄物処理工学	30		2	3・4			
	生物反応工学	30		2	3・4			
	生物反応工学実験	30		1	3・4			
	基礎統計学	30		2	2			
	No-Code Predictive Analytics with AI	60		4	2			
	環境情報システム論	30		2	2			○
Qualitative	60		4	2				

資源循環理工学科目群5  
単位以上

環境情報処理科目群5単  
位以上

e R e s e a r c h M e t h o d									
数理統計学 I	30		2	3・4				○	
ライフサイクルアセス メント	15		1	3・4					
ライフサイクルアセス メント演習	15		1	3・4					
データ分析演習	30		2	3・4					
機械学習 (A I) 演習	30		2	3・4					
数理統計学 II	30		2	3・4				○	
多変量解析	30		2	3・4					
公共政策 (地域創生ビ ジネス)	30		2	2			環境ビジネス分野	グリー ンテク ノロジ ー社会 実装科 目群5 単位以 上	
D e v e l o p m e n t E c o n o m i c s	60		4	2					
A I - a u g m e n t e d P r e s c r i p t i v e O p e r a t i o n s A n a l y t i c s	60		4	2					
ビジネスイノベーション 概論	30		2	2					○
国際ビジネス法	30		2	3・4					
知的財産法概論	30		2	3・4					
環境マネジメント	30		2	3・4					
R & D キャリアセミナー	15		1	3・4					
ビジネスプランニング 演習	30		2	3・4					○
グリーンテクノロジー インターンシップ	30		1	3・4					

	海外インターンシップ	60		2	3・4			
	国際情報技術交流史	30		2	1	※		国際技術協力分野
	国際技術協力論	30		2	2			
	国際情報英書講読	30		2	2	※		
	I n t e r n a t i o n a l F i e l d w o r k I	30		2	2	※		
	グリーンテクノロジー 海外研修A	45		3	2			
	国際技術協力演習	30		2	2	※	○	
	I n t e r n a t i o n a l F i e l d w o r k I I	30		2	2	※		
	国際技術協力海外研修	30		2	3・4	※		
	グリーンテクノロジー 海外研修B	45		3	3・4			
	特別講義	30		2	3・4			
学部学 科英語 科目 (外国 語科 目)	E n g l i s h C o m m u n i c a t i o n f o r S c i e n c e I	60		2	1	※	○	
	E n g l i s h C o m m u n i c a t i o n f o r S c i e n c e I I	60		2	1	※	○	
	E n g l i s h f o r I n t e r n a t i o n a l T e c h n i c a l C o o p e r a t i o n I	30		1	2	※		
	E n g l i s h f o r I n t e r n a t i o n a l T e c h	30		1	2	※		

	n i c a l C o o p e r a t i o n I I						
--	--	--	--	--	--	--	--

別表第11

看護部看護学科専門科目

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	他学部履修	主要授業科目	備考
			必修	選択				
専門科目 看護医科学分野 (26単位)	構造機能と生活Ⅰ（恒常性維持のための調節機構と生活）	30	1		1	×	○	71科目103単位必修
	構造機能と生活Ⅱ（日常動作を支える解剖生理と生活）	30	1		1	×	○	
	病態生理総論	15	1		1	×	○	
	栄養と代謝	30	2		1	×	○	
	薬理の基礎	15	1		1	×	○	
	臨床薬理	15	1		2	×	○	
	心理学	30	2		2	×	○	
	診断治療Ⅰ（主要な疾患の検査と治療）	30	1		1	×	○	
	診断治療Ⅱ（内分泌・血液・運動機能疾患の検査と治療）	30	1		2	×	○	
	診断治療Ⅲ（免疫・精神・小児疾患の検査と治療）	30	1		2	×	○	
	診断治療Ⅳ（感覚器・神経・筋肉の疾患・生殖器疾患の検査と治療）	30	1		2	×	○	
	看護と病態生理	30	2		2	×	○	
	生命科学	15	1		1	×	○	
	健康と生活	30	2		1	×	○	
社会保障・社会福祉論	30	2		2		○		
疫学・保健統計	30	2		3	×	○		

	生命倫理	30	2		1	×	○
	看護とコミュニケーション	30	2		1	×	○
看護 基盤 分野 (1 6単 位 )	看護基礎理論Ⅰ（看護の理解と学修者）	15	1		1	×	○
	看護基礎理論Ⅱ（看護の機能と理論）	30	2		1	×	○
	フィジカルアセスメント	30	1		1	×	○
	看護過程演習Ⅰ（アセスメント）	30	1		2	×	○
	看護過程演習Ⅱ（計画・実施）	15	1		2	×	○
	基本看護技術Ⅰ（看護技術の基本）	30	1		1	×	○
	基本看護技術Ⅱ（活動と清潔）	30	1		1	×	○
	基本看護技術Ⅲ（食事と排泄）	30	1		1	×	○
	基本看護技術Ⅳ（臨床看護技術の基本）	30	1		2	×	○
	基本看護技術Ⅴ（与薬と検査）	30	1		2	×	○
	基盤看護学実習Ⅰ（対象理解）	45	1		1	×	○
	人間発達看護学実習	90	2		2	×	○
	基盤看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）	90	2		2	×	○
看護 実践 分野 (4 3単 位 )	療養生活看護学概論	30	2		2	×	○
	療養生活看護論Ⅰ（急性回復期援助）	30	1		2	×	○
	療養生活看護論Ⅱ（急性回復期：看護過程・援助技術）	30	1		3	×	○
	療養生活看護論Ⅲ（慢性期支援）	30	1		2	×	○
	療養生活看護論Ⅳ（慢性期：看護過程・支援技術）	30	1		3	×	○

療養生活看護学実習Ⅰ（急性）	135	3		3	×	○
療養生活看護学実習Ⅱ（慢性）	135	3		3	×	○
生涯発達看護学概論	30	2		2	×	○
生涯発達看護論Ⅰ（子どもと家族の健康課題）	30	2		2	×	○
生涯発達看護論Ⅱ（子どもと家族への援助技術）	15	1		3	×	○
生涯発達看護論Ⅲ（周産期の母子の健康）	30	2		3	×	○
生涯発達看護論Ⅳ（周産期の援助技術）	15	1		3	×	○
生涯発達看護学実習Ⅰ（子どもと家族の看護）	45	1		3	×	○
生涯発達看護学実習Ⅱ（周産期の看護）	90	2		4	×	○
健康生活看護学概論Ⅰ（基本的概念）	30	2		2	×	○
健康生活看護学概論Ⅱ（集団・予防）	15	1		2	×	○
健康生活看護学概論Ⅲ（地域社会における多様な看護の場）	30	2		2	×	○
健康生活看護論Ⅰ（高齢者援助）	15	1		2	×	○
健康生活看護論Ⅱ（高齢者看護過程・技術）	30	1		3	×	○
健康生活看護論Ⅲ（精神看護展開の基礎）	30	2		2	×	○
健康生活看護論Ⅳ（精神看護の支援技術）	15	1		3	×	○
健康生活看護論Ⅴ（地域保健活動）	15	1		3	×	○
健康生活看護論Ⅵ（在宅療養支	15	1		3	×	○

	援)							
	健康生活看護論Ⅶ（訪問看護過程・地域看護技術）	15	1		3	×	○	
	健康生活看護学実習Ⅰ（高齢者の健康）	135	3		3	×	○	
	健康生活看護学実習Ⅱ（心の健康）	90	2		3	×	○	
	健康生活看護学実習Ⅲ（地域在宅生活の健康）	90	2		4	×	○	
看護実践応用分野 (18単位)	看護実践統合演習	15	1		4	×	○	
	看護学研究方法論	15	1		3	×	○	
	看護と医療安全	15	1		2	×	○	
	看護管理論	30	2		3	×	○	
	災害看護論	15	1		4	×	○	
	キャリアデザイン基礎	30	1		1	×	○	
	看護とキャリアデザイン	15	1		3	×	○	
	卒業研究	30	2		4	×	○	
	多職種協働論	15	1		4	×	○	
	クリティカルケア論	15	1		4	×	○	
	看護実践統合実習	90	2		4	×	○	
	国際看護学	30	2		1	×	○	
	国際保健学	30	2		2	×	○	
	国際看護特講1（国際看護・アジア・アフリカ）	15		1	1	×		選択科目
	国際看護特講2（国際看護・欧米）	15		1	1	×		
	国際看護研修Ⅰ（看護視察研修・アジア・アフリカ）	45		1	1	×		
	国際看護研修Ⅱ（看護視察研修・欧米）	45		1	1	×		

	国際看護研修Ⅲ（看護フィールド調査研修・アジア・アフリカ）	90		2	1	×	
	国際看護研修Ⅳ（看護フィールド調査研修・欧米）	90		2	1	×	
	卒業論文	30		2	4	×	
	家族看護論	15		1	4		
	がん看護論	15		1	4	×	
	看護実践と倫理的課題	15		1	4	×	
	生活習慣病予防と看護	15		1	4	×	
	リエゾン精神看護	15		1	4		

別表第12

国際教養学部国際教養学科専門科目

科目区分	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	他学部履修	主要授業科目	備考
			必修	選択				
専門必修科目13科目32単位必修	Academic Foundations I	30	2		1	×	○	
	Academic Foundations II	60	4		1	×	○	
	Cross-cultural Understanding	60	4		1	×	○	
	Freshman Seminar II	30	2		1	×	○	
	Foundations of Data Science	60	4		1		○	
	Academic Writing	60	4		2	×	○	
	Career Design	15	1		1	×	○	

		n for FILA							
		Global Citizenship Fieldwork I	30	2		1	×	○	
		Global Citizenship Fieldwork II	30	2		1	×	○	
		Seminar I	30	2		3		○	
		Seminar II	30	2		3		○	
		Seminar III	30	2		4	×	○	
		Senior Paper	30	2		4	×	○	
専門 選択 必修 科目 46単 位以 上修 得	L v e l 200 : P r i n c i p l e s 科 目 の 4 つ の 分 野	Principles of Philosophy	60		4	1		○	Humanities & Sociology
		Principles of History	60		4	1		○	
		Principles of Sociology	60		4	1		○	
		Principles of Social Anthropology	60		4	1		○	
	P l e s	Principle of Education	60		4	1		○	Education & Psychology
		Principles of Psychology	60		4	1		○	
	科 目 の 4 つ の 分 野	Principles of Politics and Globalization	60		4	1		○	Politics/ International Relations
		Principles of Peace Studies	60		4	1		○	
		Principles of Internatio	60		4	1		○	

から各4単位を含む計16単位以上修得すること	nal Relations							
	Principles of Economics	60		4	1		○	Economics / Business
	Principles of Finance	60		4	1		○	
	Principles of Business	60		4	1		○	
200 : Quantitative	Programming	60		4	1		○	Quantitative and Qualitative Analysis
	Calculus	60		4	1		○	
	Linear Algebra	60		4	2		○	
	Qualitative Research Method	30		2	2			
	Qualitative Research Method	60		4	2		○	
	Intermediate Statistics	30		2	2			
	Introduction to Algori	30		2	2		○	

v e & Q u a l i t a t i v e A n a l y s i s ・ S o c i e n c e 関 連 科 目 群 か ら 6 単	t h m s							
	F o u n d a t i o n s o f C h e m i s t r y	30		2	2			S c i e n c e r e l a t e d C o u r s e s
	F o u n d a t i o n s o f B i o l o g y	30		2	2			

位 以 上 修 得 す る こ と									
	L e v e l 300 - 400	H i s t o r y o f M o d e r n i z a t i o n a n d E m p i r e	60		4	2		○	H u m a n i t i e s a n d S o c i o l o g y
		M o n a r c h y a n d D e m o c r a c y i n M o d e r n H i s t o r y	60		4	2		○	
	科 目 の 4 つ	M o d e r n P o l i t i c a l T h o u g h t	60		4	2		○	
		G l o b a l E t h i c s	60		4	2		○	
	分 野 か ら	G l o b a l i z a t i o n a n d S o c i e t y	60		4	2		○	
	各 2 単 位	S o c i o l o g y o f M e d i a a n d C o m m u n i c a t i o n	60		4	2		○	
	以 上	A n t h r o p o l o g i c a l A p p r o a c h e s t o C o n t e m p o r a r y J a p a n	60		4	2		○	
	専 修 制 を 選 択	A n t h r o p o l o g y o f R e l i g i o n a n d P o l i t i c s	60		4	2		○	
		M e t a e t h n i c s	60		4	2			
	C l i m a t e C r i s	30		2	2				

した場合は、選択した専修の科目から12単位以上修得すること	is and Society							
	Feminist Perspectives	30		2	2			
	Race and Decolonisation	30		2	2			
	Gender Studies	30		2	2			
	Special Topics in Humanities and Sociology I	30		2	2			
	Special Topics in Humanities and Sociology II	30		2	2			
	Global Social Policy	60		4	2		○	Education & Psychology
	Education and International Development	60		4	2		○	
	Sociology of Education	60		4	2		○	
	Educational Practice	60		4	2		○	
	International Curricula and Practice	30		2	2			
	Global Education and Learning	30		2	2			
Positive Psychology: T	60		4	2		○		

he Science and Practice of Well-Being							
Flow: The Psychology of Optimal Experience	60		4	2			○
Psychometrics	60		4	2			
Special Topics in Education and Psychology I	30		2	2			
Special Topics in Education and Psychology II	30		2	2			
Contemporary Political and Social Theory	60		4	2			○
Citizenship and Democracy in a Global Age	60		4	2			○
Great-Power Competition and the Evolution of the International Liberal Order	60		4	2			○
Rationality and Choice: The Logic of	60		4	2			○
							Politics / International Relations

Decision Making						
International Political Economy	60		4	2		○
Comparative Politics	60		4	2		○
International Relations in Asia	60		4	2		○
Korea-Japan Relations	30		2	2		○
Politics of Memory in East Asia	30		2	2		○
Nonprofit Organizations and Public Sector	60		4	2		
Introduction to International Law	30		2	2		
Introduction to United Nations System	30		2	2		
Human Rights: History and Current Issues	30		2	2		
Global Peace and Justice	30		2	2		
Ethnicity and Political Processes	30		2	2		

Contemporary African Politics	30		2	2			
War and Peace	30		2	2			
Doing Research in the Social Sciences	30		2	2			
G20 and Global Governance	30		2	2			
World Politics	30		2	2			
International Institutions and Global Governance	60		4	2			
Special Topics in Politics and International Relations I	30		2	2			
Special Topics in Politics and International Relations II	30		2	2			
Intermediate Microeconomics	60		4	2		○	Economics / Business
Development Economics	60		4	2		○	
Intermediate Macroeconomics	60		4	2		○	

	International Trade	60		4	2		○	
	No-Code Predictive Analytics with AI	60		4	2		○	
	AI-augmented Prescriptive Operations Analytics	60		4	2		○	
	Marketing	60		4	2		○	
	Investment	60		4	2		○	
	International Business	60		4	2		○	
	Multicultural Management	30		2	2			
	Sustainable Business and Management	30		2	2			
	Special Topics in Economics I	30		2	2			
	Special Topics in Economics II	30		2	2			
	Special Topics in Business I	30		2	2			
	Special Topics in Business II	30		2	2			
専門選択科目	International Fieldwork I	30		2	2		○	Fieldwork

		I n t e r n a t i o n a l F i e l d w o r k I I	30		2	2		○	
		A d v a n c e d I n t e r n a t i o n a l F i e l d w o r k	15		1	3			
		国際技術協力演習	30		2	2			
		国際技術協力海外研修	30		2	3・ 4			
		I n t e r n s h i p I	15		1	2			
		I n t e r n s h i p I I	30		2	2			
		S p e c i a l S e m i n a r I	15		1	1			
		S p e c i a l S e m i n a r I I	15		1	2			
		S p e c i a l S e m i n a r I I I	15		1	2			
		S p e c i a l S e m i n a r I V	15		1	2			
		S p e c i a l L e c t u r e I	30		2	3・ 4			
		S p e c i a l L e c t u r e I I	30		2	2			
		S p e c i a l L e c t u r e I I I	30		2	2			
		S p e c i a l L e c t u r e I V	30		2	2			
学部	学部	E n g l i s h f o r A c a d e m i c P u r p o s e s I	60	2		1	×	○	日本語プログラムの留 学生は、第1外国語科 目5単位及び学部留学 科目16単位として共通 科目の日本語日本文化 科目から21単位修得す
外国 語科 目	科 英 語	E n g l i s h f o r A c a d e m i c P u r p o s e s I I	60	2		1	×	○	

科目 5 単 位 選 択 必 修	English for Academic Purposes III	30		1	1	×	○	ること。また学部学科英語科目のEAPI・IIの2科目4単位の修得をもって第2外国語とする。
	Academic Foundations: Study Abroad	60		4	2	×	○	
	English for Academic Purposes: Study Abroad I	120		4	2	×	○	
	English for Academic Purposes: Study Abroad II	120		4	2	×	○	
	English for Academic Purposes: Study Abroad III	120		4	2	×	○	
学部 学 科 留 学 科 目 16 単 位 選 択 必 修								

別表第13(1)

## 各教科の指導法及び教育の基礎的理解に関する科目等(中・高)

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	備考
			必修	選択		
教職に関する専門科目	教育原論：教職	30	2		1	必修科目(文・理工学部生用)
	教育原論※	60	4		1	必修科目(教育学部生用)
	教職概論※	30	2		1	必修科目
	教育行財政学※	30	2		3	必修科目
	教育・学校心理学※	30	2		1	必修科目
	特別のニーズ教育の基礎と方法※	15	1		3	必修科目
	カリキュラム論※	30	2		3	必修科目
	道徳教育論	30		2	3	中1免は必修

総合的な学習の時間の指導論※	15	1		3	必修科目
特別活動論※	15	1		2	必修科目
教育の方法と技術※	30	2		3	必修科目
I C T活用教育の理論と方法※	15	1		1	必修科目
生徒・進路指導論※	30	2		2	必修科目
教育相談※	30	2		3	必修科目
教育実習事前指導（中・高）	15	1		3	必修科目
教育実習Ⅰ（中・高）	60	2		3	必修科目
教育実習Ⅱ（中）	60		2	3	中1免を取得する者は5科目から2単位を選択必修
学校体験活動Ⅰ（中）	60		2	2	
学校体験活動Ⅱ（中）	60		2	2	
学校体験活動Ⅲ（中）	30		1	2	
学校体験活動Ⅳ（中）	30		1	2	
教職実践演習※	30	2		4	必修科目
社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	30	2		2	社会科・英語科・国語科・数学科・理科教育法は、中1免は8単位必修、高1免は4単位必修 地理歴史科・公民科・情報科教育法は4単位を必修
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	30	2		3	
社会科・公民科教育法Ⅰ	30	2		2	
社会科・公民科教育法Ⅱ	30	2		3	
英語科教育法Ⅰ	30	2		2	
英語科教育法Ⅱ	30	2		2	
英語科教育法Ⅲ	30	2		3	
英語科教育法Ⅳ	30	2		3	
国語科教育法Ⅰ	30	2		2	
国語科教育法Ⅱ	30	2		2	
国語科教育法Ⅲ	30	2		3	
国語科教育法Ⅳ	30	2		3	
数学科教育法Ⅰ	30	2		2	
数学科教育法Ⅱ	30	2		2	
数学科教育法Ⅲ	30	2		3	
数学科教育法Ⅳ	30	2		3	
情報科教育法Ⅰ	30	2		2	
情報科教育法Ⅱ	30	2		2	
理科教育法Ⅰ	30	2		2	
理科教育法Ⅱ	30	2		2	
理科教育法Ⅲ	30	2		3	
理科教育法Ⅳ	30	2		3	

※印の科目は、心理・教育学科、児童教育学科の共通開設科目。

別表第13（2）

保育内容の指導法及び教育の基礎的理解に関する科目等（幼）

各教科の指導法及び教育の基礎的理解に関する科目等（小）

科目	授業科目	授業時	必修・選択及び単位数	年次	備考
----	------	-----	------------	----	----

別		間	必修	選択			
教職 に関する 専門 科目	教職概論※	30	2		1	必修科目	
	教育原論※	60	4		1	必修科目	
	教育・学校心理学※	30	2		2	必修科目	
	教育行財政学※	30	2		3	必修科目	
	I C T活用教育の理論と 方法※	15	1		1	小1免必修	
	特別のニーズ教育の基礎 と方法※	15	1		3	必修科目	
	教育相談※	30	2		3	必修科目	
	教育実習事前指導（幼・ 小）	15	1		3	必修科目	
	教育実習Ⅰ（幼・小）	60	2		3	必修科目	
	教育実習Ⅱ（幼・小）	60			2	3	5科目から2単位を 選択必修
	学校体験活動Ⅰ（幼・ 小）	60			2	2	
	学校体験活動Ⅱ（幼・ 小）	60			2	2	
	学校体験活動Ⅲ（幼・ 小）	30			1	2	
	学校体験活動Ⅳ（幼・ 小）	30			1	2	
	教職実践演習※	30	2			4	必修科目
	カリキュラム論※	30	2			2	小1免必修
	国語科教育法	30	2			2	小1免必修
	社会科教育法	30	2			2	小1免必修
	算数科教育法	30	2			2	小1免必修
	理科教育法	30	2			2	小1免必修
	生活科教育法	15	1			3	小1免必修
	音楽科教育法	15	1			2	小1免必修
	図工科教育法	15	1			2	小1免必修
	体育科教育法	15	1			2	小1免必修
	家庭科教育法	15	1			3	小1免必修
	英語科教育法	30	2			2	小1免必修
	道徳教育論	30	2			3	小1免必修
	総合的な学習の時間の指 導論※	15	1			3	小1免必修
	特別活動論※	15	1			2	小1免必修
	教育の方法と技術※	30	2			3	小1免必修
	生徒・進路指導論※	30	2			2	小1免必修
	幼児教育課程論	30	2			2	幼1免必修
保育内容（健康）の指導 法	30	2			2	幼1免必修	
保育内容（人間関係）の 指導法	30	2			2	幼1免必修	
保育内容（環境）の指導	30	2			2	幼1免必修	

法					
保育内容（言葉）の指導法	30	2		2	幼1免必修
保育内容（表現）の指導法	30	2		2	幼1免必修
幼児教育方法論	30	2		2	幼1免必修
幼児理解の理論と方法	30	2		2	幼1免必修

※印の科目は、心理・教育学科、児童教育学科の共通開設科目。

別表第14

社会教育に関する科目

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	備考
			必修	選択		
社会教育に関する科目	生涯学習概論	30	2		1	必修
	社会教育概論	30	2		1	必修
	生涯学習支援論Ⅰ	30	2		2	必修
	生涯学習支援論Ⅱ	30	2		2	必修
	社会教育経営論Ⅰ	30	2		3	必修
	社会教育経営論Ⅱ	30	2		3	必修
	社会教育実習	30	1		3	必修
	社会教育演習Ⅰ	30	2		3	必修
	社会教育演習Ⅱ	15	1		3	必修
	社会教育特講A	30	2		2	必修
	社会教育特講B	30	2		3	必修
	教育社会学	30		2	2・3	2科目4単位以上選択必修
	児童福祉論	30		2	3	
教育原論	30		2	1		

別表第15

社会福祉士に関する専門科目

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	備考
			必修	選択		
社会福祉士に関する専門科目	社会理論と社会システム	30	2		1	
	社会福祉調査の基礎	30	2		1	
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	30	2		1	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	30	2		2	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	30	2		3	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	30	2		3	
	児童福祉論Ⅰ	30	2		2	
	児童福祉論Ⅱ	30	2		2	
	障害者福祉Ⅰ	30	2		2	
	障害者福祉Ⅱ	30	2		2	
	高齢者福祉Ⅰ	30	2		2	
	高齢者福祉Ⅱ	30	2		2	
	ソーシャルワーク演習	30	2		2	
	ソーシャルワーク演習	30	2		2	

(専門) I				
ソーシャルワーク演習 (専門) II	30	2		3
ソーシャルワーク演習 (専門) III	30	2		3
ソーシャルワーク演習 (専門) IV	30	2		4
ソーシャルワークの基盤 と専門職	30	2		2
ソーシャルワークの基盤 と専門職 (専門)	30	2		2
ソーシャルワークの理論 と方法 I	30	2		2
ソーシャルワークの理論 と方法 II	30	2		2
ソーシャルワークの理論 と方法 (専門) I	30	2		3
ソーシャルワークの理論 と方法 (専門) II	30	2		3
ソーシャルワーク実習指 導 I	30	2		2
ソーシャルワーク実習指 導 II	30	2		3
ソーシャルワーク実習指 導 III	30	2		4
ソーシャルワーク実習 I	60	2		3・4
ソーシャルワーク実習 II	180	4		3・4
社会保障 I	30	2		2
社会保障 II	30	2		2
福祉サービスの組織と経 営	30	2		3
貧困に対する支援	30	2		2
保健医療と福祉	30	2		3
権利擁護を支える法制度	30	2		3
心理学理論と心理的支援	30	2		1
人体の構造と機能及び疾 病	30	2		3
刑事司法と福祉	30	2		3・4

別表第16

公認心理師養成課程に関する科目

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	備考
			必修	選択		
公認心理師養成課程に関する科目	公認心理師の職責	30	2		1	
	心理学概論	60	4		1	
	臨床心理学概論	30	2		3	
	心理学研究法	30	2		1	

心理学統計法	30	2		2	
心理学実験	30	2		2	
知覚・認知心理学	30	2		2	
学習・言語心理学	30	2		2	
感情・人格心理学	30	2		3	
神経・生理心理学	30	2		2	
社会・集団・家族心理学	30	2		3	
発達心理学	30	2		2	
障害者・障害児心理学	30	2		3	
心理的アセスメント	30	2		3	
心理学的支援法	30	2		4	
健康・医療心理学	30	2		1	
福祉心理学	30	2		3	
教育・学校心理学	30	2		2	
司法・犯罪心理学	30	2		3	
産業・組織心理学	30	2		4	
人体の構造と機能及び疾病	30	2		2	
精神疾患とその治療	30	2		3	
関係行政論	30	2		2	
心理演習	30	2		4	
心理実習Ⅰ	40	1		4	
心理実習Ⅱ	40	1		4	

別表第17

## 日本語教員養成課程に関する科目

科目別	授業科目	授業時間	必修・選択及び単位数		年次	備考
			必修	選択		
日本語教員養成プログラムに関する科目	日本語教育概論Ⅰ	30	2		1	
	日本語教育概論Ⅱ	30	2		1	
	日本語コミュニケーション論	30	2		1	
	現代日本語文法A	30	2		2	
	現代日本語文法B	30	2		2	
	日本語音声学	30	2		2	
	日本語教授法	30	2		2	
	日本語教材研究	30	2		2	
	日本語の語彙・表記	30	2		2	
	対照言語学	30	2		2	
	第二言語としての日本語習得論	30	2		2	
	年少者日本語教育	30	2		2	
	多言語社会と言語政策	30	2		2	
	日本語教育実践	30	2		2	

別表第18

## (1) 検定料

試験の種類	検定料	備考
-------	-----	----

大学入学共通テスト利用入学試験 (前期) 3科目方式	10,000	
大学入学共通テスト利用入学試験 (前期) 4科目方式	10,000	
大学入学共通テスト利用入学試験 (後期) 3科目方式	10,000	
全学統一入学試験 3科目方式	30,000	総合型選抜入試・指定校推薦入試のいずれかの出願者は検定料を10,000円とする。
全学統一入学試験 2科目方式	30,000	総合型選抜入試・指定校推薦入試のいずれかの出願者は検定料を10,000円とする。また、全学統一入試3科目方式と併願した場合は、検定料を免除する。
一般入学試験 3科目方式	30,000	総合型選抜入試・公募推薦入試・指定校推薦入試のいずれかの出願者は検定料を10,000円とする。
一般入学試験 2科目方式	30,000	総合型選抜入試・公募推薦入試・指定校推薦入試のいずれかの出願者は検定料を10,000円とする。また、一般入試3科目方式と併願した場合は、検定料を免除する。
一般入学試験(後期) 2科目方式	30,000	
PASCAL入学試験	33,000	
グローバル人材育成入学試験	30,000	
小論文方式入学試験	33,000	
指定校推薦入学試験	33,000	
基礎学力方式入学試験	33,000	
女子特別選抜入学試験	33,000	
スポーツ推薦入学試験	33,000	
国際バカロレア入学試験	33,000	
創価学園推薦入学試験	33,000	
外国人学生入学試験	33,000	
帰国学生入学試験	33,000	
UNHCR推薦入学試験	0	協定により全額免除
創価女子短期大学推薦編入学試験	33,000	
理工学部高専推薦編入学試験	33,000	
一般編入学試験	33,000	
転学部・転学科・転籍試験	33,000	

(単位：円)

※天災その他の災害(ただし、本人もしくは生計維持者が被害発生時において被害地域に居住していた場合に限る)において証明書類の提出があった場合に、検定料を返金する。

## (2) 学費

項目	全学部	備考
入学金（入学時）	200,000	①本学通信課程からの転籍者または編入学者は通信課程入学年度の入学金分を免除する。 ②本学別科出身者は別科入学年度の入学金分を免除する。 ③再入学は免除する。 ④編入学者のうち本学または創価女子短期大学出身者は免除する。

(単位：円)

2026年度以降生			
学部	期	授業料	実習費
経済経営・法	春学期	475,000	0
	秋学期	475,000	0
文・教育	春学期	485,000	0
	秋学期	485,000	0
理工	春学期	640,000	45,000
	秋学期	640,000	45,000
看護	春学期	620,000	80,000
	秋学期	620,000	80,000
国際教養	春学期	605,000	0
	秋学期	605,000	0
備考		休学時は、在籍料として半期30,000円、年間60,000円のみを徴収する。	
在学学期数が標準修業学期数を越えた者については、以下の通り授業料を免除する。			
学部		免除額	
経済経営・法・文・教育・国際教養		半期120,000 年間240,000	
理工・看護		半期130,000 年間260,000	

(単位：円)

2025年度～2023年度生			
学部	期	授業料	実習費
経済 法 経営	春学期	475,000	0
	秋学期	475,000	0
文 教育	春学期	485,000	0
	秋学期	485,000	0
理工	春学期	640,000	45,000
	秋学期	640,000	45,000
看護	春学期	620,000	80,000
	秋学期	620,000	80,000
国際教養	春学期	605,000	0
	秋学期	605,000	0
備考		休学時は、在籍料として半期30,000円、年間60,000円のみを徴収する。	

在学学期数が標準修業学期数を超えた者については、以下の通り授業料を免除する。

学部	免除額
経済・法・文・経営・教育・国際 教養	半期120,000 年間240,000
理工・看護	半期130,000 年間260,000

(単位：円)

2022年度生～2015年度生（看護学部は2017年度生、国際教養学部は2018年度生）

学部	期	授業料	実習費
経済 法 経営	春学期	450,000	0
	秋学期	450,000	0
文 教育	春学期	460,000	0
	秋学期	460,000	0
理工	春学期	610,000	40,000
	秋学期	610,000	40,000
看護	春学期	585,000	75,000
	秋学期	585,000	75,000
国際教養	春学期	570,000	0
	秋学期	570,000	0

備考 休学時は、在籍料として半期30,000円、年間60,000円のみを徴収する。

在学学期数が標準修業学期数を超えた者については、以下の通り授業料を免除する。

学部	免除額
経済・法・文・経営・教育・国際教養	半期120,000 年間240,000
理工・看護	半期130,000 年間260,000

(単位：円)

### (3) 特設課程費

項目	文学部、教育学部、理工学部	備考
教職課程費	50,000	教職課程登録時に25,000円、教育実習登録時に25,000円の合計50,000円

項目	経済経営、法学部、文学部、教育学部、理工学部	備考
社会教育主事課程費	15,000	

項目	教育学部心理・教育学科	備考
公認心理師課程費	80,000	2年次に40,000円、3年次に40,000円を徴収する。また、別途心理実習登録時に実習費を徴収する

(単位：円)

## (1) 科目等履修生

項目	学部別 経済経営・法・ 文・教育・国際 教養学部	理工学部	備考
選考料	10,000	10,000	
登録料	20,000	20,000	①本学出身者及び別科出身者は免除する。 ②2年間継続して科目等履修生になる場合は免除する。 ③八王子市学園都市大学受講生で科目等履修生になる場合は免除する。 ④その他本学が認めた者は免除する。
履修費（1単位）	15,000	15,000	

(単位：円)

## (2) 研究生納付金

項目	学部別 経済経営・法・ 文・教育・国際 教養学部	理工学部	備考
選考料	10,000	10,000	
登録料	70,000	70,000	①本学出身者及び別科出身者は免除する。 ②2年間継続して研究生になる場合は免除する。 ③その他本学が認めた者は免除する。
研究料	132,000	216,000	1学期

(単位：円)

## (3) 特別履修生

項目	全学部	備考
登録料	2,000	①本学別科生は免除する。 ②実験実習科目の履修については、実験実習費を別途徴収することがある。 ③本学大学院生で、特設課程費を学部在学中に納めていない場合は、特設課程費を別途徴収する。 ④その他本学が認めた者は免除する。
	11,000	①八王子市学園都市大学受講生が1コマ15回の科目の特別履修生になる場合。ただし、1コマ8回の科目の場合は、6,500円とする。 ②八王子学園都市大学受講生のうち、他大学の学生が特別履修生になる場合は、半額とする。但し、単位互換協定校の学生は無料とする。 ③放送大学に在学する学生が特別履修生になる場合は、登録料は免除する。
履修費（1単位）	5,500	放送大学に在学する学生が特別履修生になる場合。ただし、それ以外の特別履修生の場合は、履修費を免除する。

(単位：円)